

県内で一番早い春祭りとして知られている田之浦山宮神社のダゴ祭り、神舞の奉納後は名物のダゴ花の取り合いで賑わいました

CONTENTS No.26

・特集：学校給食・・・02	・まちの話題・・・12	・市からのお知らせ・・・35
・まちづくりの取組状況・・・08	・教育委員会情報ネット・・・22	・暮らしのカレンダー・・・40



私たちも給食を支えています



【志布志漁業協同組合】「給食を通じて、子どもたちの味覚を育てるためにも地元で捕れた新鮮な魚介類をもっと食べて欲しいと思います」と同漁協の下村常樹総務部長は話します。志布志小学校での生産者との交流給食には、子どもたちに「ハモ」を見せようと、その日水揚げされたばかりのハモを持参して参加しました。



【JA あおぞら甚兵衛倶楽部】野菜の生産をしているグループの一つで、高齢者でも気兼ねなく少量出荷ができ、活躍の場を作ろうと発足した会です。現在は160人程度の会員がいます。今回、安楽小学校でふれあい給食に参加した生産者の星野勝さん(写真右)は「低農薬で、有機肥料をたっぷり使った野菜を作っています。たくさん食べて大きくなってください」と話していました。



【地場産物購入計画会】各生産者からの納入を進めるために、生産者の代表の方々と曾於農業改良普及センター、志布志市産業振興部、そして学校給食センターで話し合いを行う「地場産物購入計画会」を立ち上げました。学期ごとに次学期の使用予定の食材について、生産者側の意見を聞きながら、調整を行い。納入してもらっています。



特集：学校給食

生産者との交流給食でおいしそうに食べる子どもたち(志布志小)

現在の学校給食の役割

高度経済成長を迎え食生活が豊かになると、給食の役割も次第に変わり栄養面ばかりでなく、食事としてその質(味)の向上も求められるようになりました。昭和40年代から、それまでのパンの給食に加え米飯給食も行われるようになりました。

もちろん、食事は心や体の健康と大きなかわりがあるため、学校給食は、現在も成長期にある子どもたちの健康保持促進と体位の向上に大きな役割を果たしています。

そして、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を学習し、日常に生かすための能力や態度を育てるなど、食に関する「生きた教材」として重要な役割を担っています。

また、給食の準備、後片付けなどの共同作業を通して、奉仕や協力、協調の精神を育てます。学校におい

毎年、1月24日を中心とした1週間、鹿児島県では「全国学校給食週間」の取組として「鹿児島をまるごと味わう学校給食」を実施しています。

市では、この間に「丸ごと志布志を味わうきらり輝く給食の日」として、全て市内産の食材を用いた献立を用意しました。

「学校で一番の楽しみは、給食時間」と「昼休み時間」とおいしそうに給食を食べながら答える安楽小学校6年生の上原廉さん。きつとみなさんもそうだったのではないのでしょうか。



給食の献立を確かめながら食べる児童(安楽小)

志布志市★きらり輝く給食の日

児童生徒に特産物を知ってもらうため、市からの補助を受けて実施しています。

■平成19年度は次の食材を使用しました 牛肉・黒豚・ハモ・うなぎ・メロン・米



- ごはん
- 牛乳
- うなぎの蒲焼き(うなぎ)
- 沢煮椀
- みかん果汁



- お茶入り甘納豆パン
- 牛乳
- 牛肉の赤ワイン煮(牛肉)
- きのこのミネストローネ



親子ふれあい給食の(松山小学校)

てみんなで一緒に楽しく「食べる」という体験を通して社交性を養い好ましい人間関係を育てます。

このように、ただ単に「食べる」というだけの給食から「食育」を始め様々な学びの場となっています。

給食は心と体の栄養源!

給



③野菜を切ります

素材の形を大切にしながら食べやすいように、包丁や機械を使って切ります。



①食材が持ち込まれます

食品の品質や鮮度、品温、数量などしっかりとチェックしてから使用しています。

食



④調理作業

調理には細心の注意を払い、限られた時間内に、衛生的にそして早く作業を行います。目による確認だけでなく温度計を使い、中まで火がきちんと通ったことを確認し、記録します。



②野菜の皮をむいて洗います

毎日、たくさんの野菜や果物の下処理をし、衛生管理基準に従って丁寧に洗います。

⑤配かんをします

できあがったおかずをクラスの人数分に分けます。



⑥コンテナに入れて出発します

食器や給食をコンテナに入れて出発します。



がてきる

⑦食器を洗い翌日の準備をします

翌日に備えて、食器をきれいに洗います。



ま



生産者とのふれあい給食（出水中学校）



志布志学校給食センターの栄養士

福元久美子さん
内村佳代さん

このように、ただ栄養が満たされるのではなく、様々なことを考え、献立を立てています。また、給食時間までという時間の制約や限られた調理設備の中でどのように調理していくかということも考えなくてはなりません。子どもたちが苦手とする食材も取り入れていますが、できるだけ食べてもらえるよう味付けの工夫なども行っています。

しかし、子どもたちが食べる食事の約6分の5は家庭での食事になります。子どもたちが望ましい食習慣を身につけるためには、家庭での食事も重要になってきます。学校給食もその家庭での食事のモデルとなるよう考えています。今後子どもたちの心身の健康を支えていけるよう調理員とともに安心して安全な学校給食づくりに努めていきたいと思っています。

● 志布志学校給食センター栄養士
● 私たちが献立を作ります
次のようなことに気をつけています。
● 学校給食の栄養所要量を充足させる
● 地元の食材を活用した献立にする。
● 旬のものを使うなど季節感を持たせる。
● 一食分の給食費を考慮する。
● 郷土料理や世界の料理、行事食を取り入れる。
● 食材の味を生かしてできるだけ薄味にする。
● 給食が食体験の場になるようにできるだけたくさんの食品を使う。
● 生ものは使用しないなど、食中毒の発生につながらないよう献立内容を考慮する。
● 家庭での食事のモデルとなるような献立にする。

て

新しい学校給食センターについて

志布志市では旧町ごとに3つの給食センターで調理をしています。

その一つの松山学校給食センターは平成2年に開設され、ドライ運用方式で施設運営上問題はありません。

ドライ方式とは、床面を乾いた状態に保ち使用することで、跳ね水による二次汚染や、細菌、衛生害虫の繁殖を抑えることができる方法です。運用上でも、床面等を濡らさないために作業工程にも様々な工夫がされています。

しかし、志布志学校給食センターは昭和47年に操業を開始、有明学校給食センターは昭和51年に操業を開始ということで施設の老朽化が激しくなっています。また、床面は水による流し洗いを想定した形状のままで、ドライ運用するための専用台車を行き来させる広さも不十分で、作業台やシンク、釜などから水が床に落ちにくいような整備も難しい現状となっています。

そこで、建設委員会等により検討を行った結果、新しい給食センターを建設するとの結論にいたり、現在、旧有明町役場跡地（有明小学校近く）の一部で建設が行われています。

新センターは文部科学省が作成している衛生管理基準をクリアしたものととなり、概要は次の通りになります。

- 建築面積 2,148㎡
- 建築構造 鉄骨平屋建て
- 本事業費 868,960,000円
- 処理能力 3,000食



12月15日、起工式で搬入される本田市市長

志布志ついに伝えたい食育レシピ

学校給食の地場産物を使ったレシピを紹介します

はくさいのチリコンカン



- 【材料】
- ・はくさい 200g
 - ・合びき肉 160g
 - ・大豆(水煮) 160g
 - ・にんじん 80g
 - ・マッシュルーム 60g
 - ・たまねぎ 140g
 - ・パセリ 5g
 - ・おろしにんにく 適量
 - ・ダイストマト(缶) 40g
 - ・トマトピューレ 20g
 - ・ケチャップ 大さじ2 2/3
 - ・塩 小さじ1/2
 - ・こしょう 少々
 - ・チリパウダー適量
 - ・マーガリン 適量

作り方

- 1 はくさいは食べやすい大きさに切り、にんじんはさいの目切り、たまねぎは乱切り、パセリはみじん切りにする。
- 2 マーガリンを熱し、合びき肉、にんにくを炒め、たまねぎ、にんじん、水気をきった大豆、マッシュルームを入れて炒める。
- 3 ダイストマト、トマトピューレ、ケチャップ、塩、こしょうを入れて煮込む。
- 4 チリパウダーを入れ、最後にパセリを入れる。

はものすまし汁



- 【材料】
- ・はも 140g
 - ・酒 大さじ1
 - ・かたくり粉 適量
 - ・そうめん 40g
 - ・にんじん 50g
 - ・こまつな 40g
 - ・ごぼう 40g
 - ・深ねぎ 10g
 - ・酒 小さじ1
 - ・淡口醤油 大さじ1 1/3
 - ・塩 少々
 - ・だし汁 600cc(昆布・かつお節)

作り方

- 1 昆布とかつお節の混合だしをとる。
- 2 はもは食べやすい大きさに切り、酒をふりかける。
- 3 にんじんはせん切り、こまつなは2cm幅に切る。ごぼうはささがきにし、深ねぎは小口切りにする。
- 4 はもの水分をふき取り、かたくり粉をつけて、湯引きする。
- 5 そうめんをかためにゆでる。
- 6 1ににんじん、ごぼうを入れて煮る。カッコ内の調味料で味付けをし、はも、こまつな、そうめん、深ねぎを入れて仕上げる。

フルーツきんとん



- 【材料】
- ・さつまいも 160g
 - ・もも(缶) 60g
 - ・パイン(缶) 60g

作り方

- 1 さつまいもはゆでてつぶす。
- 2 1に缶詰のシロップを少量加え、練り上げる。
- 3 もも、パインは一口大に切る。
- 4 シロップをきったもも、パインを混ぜる。

給食費の未納は

ありませんか？

学校給食法により、人件費や高熱水費、施設・設備の修繕費は市で負担、食材費は保護者負担と定められています。

つまり、皆様から納付された給食費は全額が食材費に充てられています。給食費の未納があると、食材の調達に難しくなるなど、学校給食の健全な運営に支障をきたしてしまいます。

納め忘れなどありましたらお早めに納入をお願いします。

現在の市の学校給食の値段はおよそ次のとおりになります。

■ 小学校一食(およそ) 210円

■ 中学校一食(およそ) 250円

※今回は、主に志布志学校給食センターを紹介しましたが、今後、各センターの取材を通じ「食」に対する取り組みを紹介します。

豊かな給食になるまでの歴史と献立の変化

明治22年

学校給食のはじまり

山形県の忠愛(ちゅうあい)小学校で経済的に恵まれない児童におにぎりや焼き魚、漬物を昼食としてだしたことが、学校給食のはじまりといわれています。

昭和16年

戦争で学校給食の危機

戦争で学校給食を続けることが難しくなり、学童疎開により、ついに中止となりました。

昭和21年

戦後初の学校給食開始

12月24日、試験的に東京都・神奈川県・千葉県で戦後はじめての学校給食がつくられ、記念すべき日となりました。冬休みの関係で1か月後の1月24日が給食記念日とされました。

昭和25年

完全給食のはじまり

アメリカ合衆国から小麦粉が送られ、パン・ミルク(脱脂粉乳)・おかずの完全給食が行われました。

昭和29年

学校給食に関する法律の制定

学校給食は、子どもたちの体力向上だけでなく、教育としても考えられるようになり、国の法律として「学校給食法」が制定されました。

昭和40年

ミルク(脱脂粉乳)から牛乳へ

学校給食用飲料として、ミルク(脱脂粉乳)から牛乳へと切りかえがはじまりました。(脱脂粉乳…牛乳の脂肪分を取り除き、乾燥させたものをお湯で溶いたもの)

昭和51年

米中心の献立に

米を使った学校給食が正式に始まりました。

現在

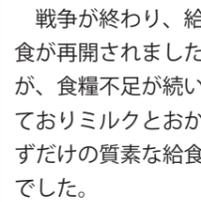
世界に誇れる学校給食に

地元でとれた食材を使った特色ある給食や、郷土給食、世界の料理給食など献立の種類も増え、豊かで恵まれた学校給食が行われています。



明治22年

経済的に恵まれない児童のためにおにぎりなどの食事を出したのが日本の学校給食のはじまりでした。



昭和21年



昭和27年頃

ミルクから牛乳へ切り替えられ、終戦直後に比べると多様なメニューとなりました。



昭和40年頃



現在

地元の食材を使い、栄養バランスのととのった安全でおいしい給食が出されるようになりました。

「食育考」



学校教育における食育が、脚光を浴びています。これまでの学校教育では、知育・徳育・体育が表出していました。その中に食育も肩を並べるようになりました。県内では、教育週間の行事などに、給食に関する催しが彩りを添えています。国においても食の指導致る報告や答申が矢継ぎ早になされています。

このことは、国民的課題である健全な食習慣の形成には、学校教育の役割が大きいという認識の表れだと思えます。同時に、昨今の食生活の実態からできるだけ早く手を打たないと、大変なことになるという現状認識があることも想像に難くありません。

粗食に甘んじながら、戦後の混乱期を必死になつて働き、我が国の新たな基礎を築いてこられた世代。この方々は『せめてわが子や孫には、こんなにもいい思いはさせたくない』という願いがあったと思えます。ところが、現実はこの願いが大きくかけ離れています。

核家族化や生活の洋式化の進行。あふれるほどの物と生活の便利さ。その中での伝統食の崩壊や「こしよく(粉食・小食・孤食・個食)」の進行。生活習慣病の低年齢化。さらには、産地偽装や賞

味期限改ざん、残留農薬といった食材への不安があります。

さらに、「空腹」はおろか「がまん」や「もつたいない」という言葉さえも、死語と化しつつあります。哲学者の中野孝次さんは、その著書『風の良寛』の中で「文明が進歩すれば人間は幸せになる、というのは間違いだった」と言っています。これはあながち言い過ぎではないようです。

今こそ、食は心身共によりよく生きることにつながるものであることを、再認識すべきではないでしょうか。だとすれば、正しい食育は、栄養価や食材の吟味に止まってはならないのです。豊かな心の育成や日本人の自然観などについても、家庭や学校で話題に

食べ物が食卓に並ぶまでには生産者の汗と涙があり、搬送や調理には安心・安全にかかる工夫と努力があります。さらに、食材によっては、我が国独自の「旬の味」というものもあります。これらについて語ることも、食育の役目と考えると、食は生きる全てだということが分かります。

そして、子どもたちの「いただきます」「ごちそうさまでした」に応えられる給食を提供するのが我々大人の務めでしょう。

志布志市教育委員会
教育長 坪田 勝秀

すぐに行う重要施策

(1) あなた（市民）が輝くまちづくり



公民館でのふれあい移動市長室

優先項目① 高齢化や過疎化、そして時代のニーズに合わなくなった自治会組織の再編を含め、地域住民が自主・自立できる新自治会組織を立ち上げます。

↓↓ 実践状況 ↓↓

庁内関係部署による自治会検討委員会を設置し、自治会のあり方・方向性について調査研究を進めています。（委員会を6回開催。アンケートも実施し、更に検討を進めています）

優先項目② 地域活性化対策として、市民自ら考え、自ら計画し、自ら行動する「地域再生プロジェクト」を推進します。

↓↓ 実践状況 ↓↓

「ふるさとづくり委員会」や「むら再生促進事業」による共生・協働・自立のまちづくりが活発に展開中。19年度やちく松山藩が「もてなしの心」や「人づくり」「手づくり」にこだわった「やちく魂」が評価され「国土交通大臣賞」を受賞しました。



志布志の「志」を全国ブランドへ

4月24日を「しぶしの日」として記念日登録。「志のまち」を宣言し、共生・協働・自立の社会づくりを更に強化して志あふれるまちを実現します。（志の政策を市民と一緒に展開中）。

子どもたちも協力してごみゼロのまちづくり。循環型社会を目指して、サンサンひまわりプランを実施中。資源化率全国4位、市ではトップ



まち全体でごみゼロを目指します

(2) 開かれたわかりやすい市民参加の市政



市民の目線で！学校あり方委員会

優先項目① 各種改革プロジェクトへ市民や専門家の参加をすすめます。

↓↓ 実践状況 ↓↓

行財政改革推進委員会・まちづくり委員会・学校あり方委員会を市民参画により市民の意見を広く反映していきます。

優先項目② 市民編集委員を募集し、中学生がわかる広報誌づくりを目指します。

↓↓ 実践状況 ↓↓

平成18年度は高校生2人、平成19年度は一般の方3人による市民編集委員を配置しました。



広報紙の朗読ボランティアグループ



特産品はも祭りの様子

優先項目③ 市政への女性参加や女性起業家を支援するため、女性スタッフによる「女性支援対策室」を設置します。

↓↓ 実践状況 ↓↓

女性支援対策室を設置しました。市民による女性支援推進会議で研修会を開催。そのほか、女性の相談日や専用電話も設置し体制の充実を図りました。

また、はも販売所を漁協が設置しました。はもまつり等では漁協女性部が大活躍しています。

優先項目④ 市民の生の声を聞き、生かしていける「ふれあい移動市長室」を各地区ごとに巡回して開催していきます。

↓↓ 実践状況 ↓↓

校区単位のふれあい移動市長室を計画的に実施しており、20年中に一巡する予定です。※今年1月1日現在で開催数26箇所、出席人数734人です。

今年1月からは有明地区で開催しています。



志布志地区でのふれあい移動市長室



こころざし
志

のあふれるまちづくり

新生 志布志市 新しいまちづくりの取組状況

将来像：やすらぎとにぎわいの輪が協奏するまち

今回の報告は、

- 1 目指す姿（長期構想）
- 2 すぐに行う重要施策
- 3 4年間で行う重要施策

に区分されており、今回は、すぐに行う重要施策を中心に志布志市誕生後2年間の主な施策をお知らせします。



1 目指す姿（長期構想）

(1) 地方自治の本来の姿は、「市民が主役の自治」

市民一人ひとりが参画し協働する、公平で公正な自立した市民（NPO）社会の構築

実践状況 19年3月に第1次志布志市振興計画を策定し、共生・協働・自立の社会づくりを実現するために「志のまち」を宣言しました。市民一人ひとりがそれぞれの役割を持って、高い志と慈愛の精神で、行動を起こし、輝く志布志市を目指して、活動中です。

(2) いつまでも持続可能な社会機構や産業構造をもつ循環型社会の創造

実践状況 21世紀は環境の世紀として、循環型社会の形成を目指した取り組みを推進しています。具体的には、28品目の分別リサイクルやサンサンひまわりプランの実施、市民総参加のクリーン作成（ゴミゼロから花いっぱいへ）を実施し、地域資源を活かした地域経済の振興を目指しています。

(3) ボーダレス（国境のない）時代の視点でアジア・太平洋と結ぶ国際交流都市「志布志市」

実践状況 九州唯一の「中核国際港湾」である志布志港を物流拠点として、地域経済の振興に努めています。「国際交流」と「新産業おこし」をテーマにSHIBUSHIプロジェクトを設置し実践研究中です。新若浜地区を核に雇用の場、市民が親しめるスポーツ・観光などの拠点とし志布志港のセールスを積極的に行っています。

4年間で行う重要施策

(1) 循環型農林水産業の振興



全国和牛能力共進会

優先項目① 環境保全型農業を目指した安全で安心できる高品質農産物の生産を推進し、更に、それを原料とした食品加工及び周辺産業などの企業誘致を進めます。(安心安全な

農林畜水産物の本物づくりを推進し、志布志ブランドの確立を目指す)

↓↓ 実践状況 ↓↓

第1回志布志市立地企業懇話会を開催しました。ポジティブリスト制度※1に対応した農業を推進します。



全国茶品評会5年連続7度目の産地受賞

(3) 国際交流都市の宣言



発展する志布志港

優先項目① 国際交流都市を目指し、ODAでの国際協力による有機肥料の輸出や「土づくり」「緑づくり」支援と技術研修者の受入れ交流事業に取り組み、アジア・太平洋諸国との交流を深めます。

↓↓ 実践状況 ↓↓

官民一体となった志布志プロジェクトを設置し、新産業おこしに挑戦。新若浜地区の一部供用に向けトップセールスを展開中。東九州自動車道、都城志布志道路の早期完成に向け陳情も積極的に展開します。

優先項目② 未来に伸び、日本の宝である子供たちを、世界を知り国際的な視野をもつ人材に育てるため、「青少年海外交流事業」を積極的に取り組みます。

↓↓ 実践状況 ↓↓

シアトル・トレーシー・中国へ小中高生25人を派遣しました



(2) 新しい産業の振興と働く場



農林水産省のバイオスタウンに選定

優先項目① 新エネルギービジョンを策定して、豊かなクリーンエネルギー資源(太陽・風力・バイオマス等)を活用した発電事業を推進します。

優先項目② 山林資源の抜本活用策として、先端技術と国のバイオマス支援策を生かした高品質の活性炭生産事業を官民一体で進めます。

↓↓ 実践状況 ↓↓

地域新エネルギービジョン・バイオマスタウン構想の策定により国等の支援策も拡充しました。

地域バイオマス利活用検討会を設置し、施策を推進中であり、全国からの視察も増加しています。



さんふらわあ問題に取り組む市長と伊藤知事

※重要施策関連：四つの祭り・イベントを中心に商工観光戦略会議と連携し、年間100万人の入込客数を目指します。(県茶業振興大会やねんりんピックマラソン大会の誘致、さんふらわあ利用促進、生涯学習まちづくり事業、自衛官の寄港増加等によるにぎわいの創出と地域経済活性化を展開中)

こころざし
志

のあふれるまちづくり

新生志布志市新しいまちづくりの取り組み状況

(3) 安心安全～しあわせ・うるおい・健康「志布志市」づくり



市民団体による防犯パトロール隊

優先項目① 市民・行政・警察・消防等を交えた「安心・安全のまちづくり委員会」を設置し、市民も役割を担ってもらう防犯・防災プログラムや緊急情報ネットワーク策定等の事業に取り組みます。

↓↓ 実践状況 ↓↓

安心・安全まちづくり推進協議会を設置し、防災意識の啓発、防災マップの作成・緊急情報ネットワークや避難支援体制を整備しました。(管内の対前年度犯罪率3割減)(NPO連絡協議会設立)



交通安全を願い千人立哨

優先項目③ 子供たちの健康と食育を目指して、おやつにおにぎりを食べさせる運動「おにぎり大作戦」を進め、地域ぐるみで子育てをサポートするユニークな事業を展開します。

↓↓ 実践状況 ↓↓

学校給食へ市内の特産品を提供する地産地消の取組みや食育を推進(きらり輝く3つの教えを理念に教育推進)。給食センター建設着工！！



給食を食べる児童

優先項目② 高齢者医療・介護予防に大きな成果が出ている「ピンピン元気塾」を全市に広め、「高齢者が元なまち」を目指し、その削減できた財源で市独自の思い切った子育て支援策(児童手当の拡充・保育支援の充実)を進めます。

↓↓ 実践状況 ↓↓

ピンピン元気塾のサポーターを49名養成して、市内で各種健康講座を開催し、高齢者の元なまちづくりを総合的に推進しています。



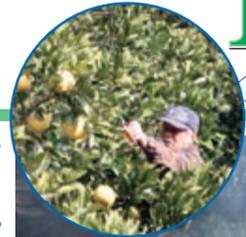
元気にグラウンドゴルフ

ファミリーサポートセンター事業・こんにちは！あかちゃん事業の取り組み等により「子育て日本一のまち」を目指していきます。乳幼児医療費の全額助成への拡充や妊婦健診料の補助を拡大しました。



子育て支援センターはぐみランド

※1 食品への農薬残留については、残留基準が設定されています。ポジティブリスト制度とは、残留基準の設定されていない農薬が残留する食品の販売等を禁止することをいいます。



サワーポメロの収穫祭を開催



小春日のもとバーベキューを楽しみました

1月13日、有明地区宮塩自治会の山中梓さん（80歳）所有のサワーポメロ園で収穫祭が行われました。伊崎田むら再生実行委員会が運営するサワーポメロのオーナー制は今年3年目となり、市内外から53組の申し込みがありました。収穫祭には約40組のオーナー、100人を超える人が集まり、5月に抽選で決定した自分の木に実ったサワーポメロを一つずつ収穫をしました。今年、豊作で一本の木に400個程が実り、ケースに一杯のサワーポメロを何回も自動車に運びながら、参加者は収穫の喜びを味わっていました。

交通安全を呼びかけました

1月10日、山重小学校近くの国道269号線で、交通安全キャンペーンを志布志地区交通安全協会有明支部（山元康行支部長）が、志布志警察署の協力で行いました。鹿屋方面から曾於市方面に向かう自動車を止め、交通安全のチラシと市内で収穫したミカン、眠気覚まし剤のガムをドライバーに手渡し「安全運転」を呼びかけました。山元支部長は「私たちのこのような活動が交通事故撲滅の一助になればと思いい活動を続けていきます」と話していました。



ドライバー一人ひとりに安全運転を呼びかけました

桜250本を植樹

八野校区



地域の方が1本ずつ丁寧に植樹しました

1月20日、八野校区公民館（北村美次公民館長）では、地域の景観作りのため八野小学校の近くの休耕田に桜の植樹を行いました。これは、日本さくらの会が実施している桜植樹事業に、公民館が昨年頃から応募していたもので、昨年ようやく採用され、同会から250本の桜と御影石の記念碑が届いたものです。当日は地域住民30人が参加し、一本一本丁寧に植えていました。来年の春には桜の花が開き、桜の名所となりそうです。

読売福祉文化賞2007年受賞

1月29日、読売新聞社東京本社で、読売福祉文化賞2007年の表彰式が行われ、しぶし夢しずく工房が大賞3件に選ばれ、賞牌と活動支援費を受けました。これは、県特産のイモ焼酎造りを地元酒造会社や農家の協力を得て、原料のサツマイモや米の栽培、収穫、焼酎の仕込み、瓶詰、ラベル張りまで全工程に利用者が携わっていることが、高く評価されたものです。この賞は、障害やハンデを持つ人たちも「健常者と共に地域社会の一員として楽しく生活できる」、心豊かな福祉文化を創造し、発展させていく担い手となる「有望新人」を発掘するもので、今回で5回目となりますが、九州から大賞が選出されたのは、初めてになります。



大賞を受けた皆さん



多くのランナーが一本のタスキに思いを込めて一斉にスタートしました（一般の部）



タスキをつなぐ中学生

志布志ジョガー駅伝競争大会

1月13日、志布志運動公園陸上競技場でジョガー駅伝競争大会が開催され、市内外から57チーム、370人が参加し健脚を競いました。

1区間2・72kmの運動公園周辺周回コースを5人のたすきリレーでつなぎ、合計13・6km（小学生は1・52kmの5区間）を走りました。普段から走り込んでいるチームやレクリエーションを兼ねて参加したチーム等ありましたが、全てのチームが一本のタスキをつないで怪我もなくゴールすることができました。ジョガー駅伝大会の名物ともいえる申告タイム賞は祁答院ランナーズジュニアが申告タイムと同タイムで優勝しました。なお、その他の結果については次のとおりです。

- 一般の部
 - 1位 祁答院ランナーズA 47分28秒
 - 2位 志布志マジカルランナーズ 54分09秒
 - 3位 ひまわりFC 54分21秒



デッドヒートを繰り広げる小学生の部

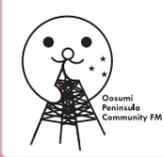
- 女子の部
 - 1位 祁答院ランナーズガールズ 1時間4分53秒
- 小学生男子の部（計7・6km）
 - 1位 SKRC(A) 28分11秒
 - 2位 菱田ボーイズB 29分38秒
 - 3位 山重野球スポーツ少年団 29分50秒
- 小学生女子の部（計7・6km）
 - 1位 高山Jr陸上クラブ 30分17秒
 - 2位 SKRC(B) 31分25秒
 - 3位 伊崎田バレーボールスポーツ少年団A 34分11秒
- 中学生男子の部
 - 1位 松山中学校陸上部M 46分24秒
 - 2位 SKRC(C) 49分18秒
 - 3位 伊崎田中学校2年A 57分54秒
- 中学生女子の部
 - 1位 百引中学校 52分29秒
 - 2位 松山中学校陸上部W 54分30秒
 - 3位 高山Jr陸上クラブA 57分10秒



おいしいお茶を味わってほしいと贈りました

おいしいお茶を味わって

1月28日、市茶業振興会有明支部有明茶業振興会（堀口泰久会長）が市役所を訪れ、市内の小中学校にお茶を寄贈しました。子どもたちにお茶のおいしさを伝えるとともに、志布志市は県内2位の生産量を誇る茶の産地であることを知ってもらおうと同振興会が以前から取り組んでいる事業ですが、昨年までの有明地区に加え、今回、初めて市内の全25校に贈りました。「今回、振興会では50粒のお茶の葉を準備しました。市内の子どもたちが少しでもお茶に興味をもって、日常生活にお茶を取り入れてくれたら良いですね」と堀口さんは話していました。素敵なプレゼントがありました。



市報しぶしの朗読サービス『和都市のしぶし』は毎週、月曜日と木曜日の午前5時から右のFM局で好評放送中です。

★www.0033fm.net★

FMかのや 77.2MHz FMきもつき 80.2MHz FM志布志 78.1MHz



ふるさとときやらばん志布志公演

1月22日、劇団ふるさとときやらばん、新作ミュージカル「地震・カミナリ・火事・オヤジ」の公演が市文化会館で催されました。

このミュージカルは、愛する地域を守るために奮闘する消防団員の姿を通して、家族や人とのつながり、地域のつながりの大切さを感じさせる作品でした。

本物のミュージカルに会場いっぱいのお客様からは拍手や笑いが沸き起こり舞台と会場が一体になり大変盛り上がりしました。

観客からは「とても楽しかった」「元気をもらった」「また見たい」などの感想がありました。

『新しいまちで・新しい仲間と・新しい感動を！』をテーマにこの公演を取り組んだ実行委員長牧枝みゆきさんは「この公演で人と人が助け合う素晴らしさを学びました。取り組みを通じて多くの方とふれあい、ご協力をいただきました。市の活性化の一助になればうれしいです」と話していました。



多くの地域の方による刀舞の奉納

安楽山宮神社元旦祭

1月1日、安楽山宮神社で元旦祭が行われました。

この元旦祭は、年の初めを清めるもので、長い伝統があります。後継者不足で、一時は途絶えたこともありましたが、現在、地域の方の手により毎年行われています。

元旦祭では、神事が執り行われた後、獅子舞や浦安の舞、刀舞が奉納されました。

雨が降っていましたが、傘を差した参拝客が、新しい年の初めを祈っていました。



市消防団ラッパ隊の入場行進によるオープニング(写真左:実行委員長牧枝みゆきさん)

市内各地で鬼火焚き

鬼火焚きは、昔から伝わる新年の行事で、竹の櫓に火をつけ、竹が「パチパチ」「パーンパーン」と破裂する音で鬼を追い出し、その年を無病息災で過ごすという行事です。

1月12日、松山町新橋校区では市役所松山支所近くの水田で鬼火焚きが行われました。

以前は、自治会で行っていた鬼火焚きでしたが、高齢化や人口の減少により開催が難しくなっていました。そこで、新橋校区鬼火焚き実行委員会(野村広志会長)で昨年から鬼火焚きを行い、今年で2回目の開催となりました。

保育園の園児によるお遊戯や大声大会などのイベントのほか婦人部によるぜんざいも振る舞われました。



高さ20mに迫る竹のやぐらに一齐に点火しました



お宮前の広場では多くの神舞が奉納されました

県内一早い春祭り

2月3日、田之浦山宮神社で鹿児島県内で一番早いといわれるダゴ祭りが行われました。

ダゴ花は米粉でつくった色鮮やかな団子で、今年も同校区の11自治会と田之浦小学校児童の作った計12本の「ダゴ花」がお宮に飾られました。

また、お宮前の広場では、同神社に伝わる神舞26段のうち7段が神舞保存会により奉納されました。

神社には県の無形民俗文化財でもある神舞の写真を撮ろうと多くの写真愛好家も集まっていました。

神舞が終わると、飾られていたダゴ花が境内に運ばれ、多くの見物人が我先にと手を伸ばしダゴを手にしていました。このダゴを食べると1年間無病息災といわれています。



生徒は慣れた手つきで菌種の駒打ちを行いました

「きのこの森」で椎茸栽培

1月18日、出水中学校の1年生の生徒7人が総合的な学習の一環としてクヌギの木を原木に椎茸の菌種の駒打ちを行いました。

同校では、ウスカワゴロモの研究や文部科学省クローブ事業モデル指定校として活動を行うなど、積極的に自然環境とのかかわりの学習を行っています。その活動の一環として、校内に「きのこの森」があり、毎年椎茸の栽培をしています。

今回、駒打ちした椎茸を収穫できるのは約2年後になりますが、その間、生徒達は同校区の自然環境を守る活動を行うとしています。

生徒達は「電気ドリルは怖かったけど、椎茸の収穫をするのが楽しみです」と話していました。



氷の張っている笠山頂の山頂で記念写真撮影

皆で初日の出登山！ 潤ヶ野小

潤ヶ野緑の少年団員と潤ヶ野小PTA約40人が毎年恒例の初日の出登山に挑戦しました。

1月1日、午前5時30分、小学校に集合し、宮崎県との境にある笠山をおよそ1時間かけて登りました。山頂の笠山神社に初詣をし、お互い年始のあいさつを交わしました。頂上には氷が張り、汗もあつという間にひいていきました。

午前7時30分頃雲の間から初日の出が見えるところからともなく「万歳」を叫ぶ声があり、一斉に万歳三唱を行いました。「今年も家族全員が健康で過ごせますように」と御来光に願いを込め恒例の初日の出登山を終りました。



子どもたちは体育館に広げられたかるたを取りました

手作りカルタで故郷を再発見！

1月18日、森山小学校(中村芳子校長)で全校児童17人によるカルタ取り大会が行われました。

このカルタ取り大会に向け、全校児童が毎年、小学校や地域を題材にした札を一枚ずつ手作りし、古い札と入れ替えていきます。

大会では、全校児童で「お正月」を歌った後「おととびつくりへび」による「むかしからみんななかよし森山校区」など、一人ひとり自分の作った札を披露しました。

カルタ取り大会では、東康樹教諭が取り札を表現した文言を読み上げると、体育館いっぱい広げられた札を子どもたちは一生懸命取り合いました。



小学校の思い出の一つに手作りの卒業証書作り

自作和紙で卒業証書

1月18日、伊崎田小学校の6年生児童の13人が地域に伝わる伊崎田和紙の紙すきに挑戦しました。

伊崎田和紙は昭和40年代までは地元の特産品として製造されていましたが、しばらく途絶えていたものを昭和61年に伊崎田和紙保存会(田中昭臣会長)が復活させ、子ども達に伝統を受け継がせています。

当日は保存会の田中会長と堀口典夫さんが同小を訪れ、竇桁を使った紙すきの指導を行いました。子ども達は、慣れない手つきながらも一枚一枚丁寧に紙をすいていました。

中水尚史さんは「竇桁は見た目より軽かったけど緊張しました。卒業式が楽しみです」と話していました。

地域づくりには良きリーダーの存在が不可欠です。

今月は、先月に引き続きリーダー養成塾で学んだことを紹介します。人が地域の人を動かすには、リーダーがただ単に「命令」しても、目の状況は解決するかもしれないが「真の志」が伝わらなければその地域の人の意識は変わらなず発展はありませぬ。

やはり、人を動かすには「情」「感動」が大切です。その2つを生み出すには、地域の人をよく知っておく「予」が大切です。「予」を知ること、「人財」を発見することができ、地域の人たちそれぞれに番番を与えることができる。

このことは、日常すべてが地域づくりにつながっていて、それを継続し続けるということは、まさに「使命感」と「責任感」をもっていかないといけないことだと感じました。

また、コーディネーターとして参加していたNHKアナウンサーの森吉弘さんからは、話すことのプロとして、コミュニケーションは双方方向でなければならぬということ、考えさせられました。行政の説明は、一般的に話す調子が平坦で、一方的な説明になりがちですが、聞き手との「間」の大切さ、「伝える」ということの難しさを改めて感じました。



豊重哲郎柳谷町内会長による講義の様子

た。また、話すことへのプロ意識、「自分も話をする前には、すぐく練習する」という話を聞いたときに、今までの自分の住民に対する説明等を反省するとともに、意識を改めて、今後の業務に取り組みなければいけないと感じました。

最後に、リーダーの十カ条を紹介いたします。ぜひ皆さんも実践して素敵な「ふるさと」を作ってください。

- 一、つらい時こそ笑うべし
- 二、かねてから人財発見すべし
- 三、人の言に逆らうべからず
- 四、情報を人にいっかすべし
- 五、一人でするな百人ですべし
- 六、こどもの目と八十の知恵を生かすべし
- 七、リーダーを次の世代へ継ぐべし
- 八、涙と汗で人の心を動かすべし
- 九、言葉に魂を入れるべし
- 十、己の力で地域を攪拌すべし

九州唯一の「中核国際港湾」である志布志港を物流の拠点とし、東アジア全体の中心に位置する志布志市から新しい発想と企画で「人と物と技術・情報」の交流により国際交流都市を目指す。SHIBUSHIプロジェクトでは、国際交流拠点づくりと新産業おこしをテーマに地域経済の活性化を図るための調査研究及び実践を行います。

そのプロジェクトの一環として、市では企画政策課とプロジェクト推進会議委員とともに市内のイベント等に参加し「国際交流IN志布志」を行ってまいります。

昨年11月11日には「大隅の國やっちく松山藩秋の陣まつり」の会場で、鹿屋民族館や鹿児島県アジア・太平洋農村研修センターの協力で行った「ピースで国旗づくり」や「民族衣装体験」「バンブーダンス」に300人程の方が参加しました。

祭りでは、やっちく松山藩による国際青少年音楽祭の一環で、武者行列に



秋の陣まつりに参加



多くの市民も国際交流を楽しみました

ベルギーのヤン・デブレール氏に参加し、市民との交流を深めていました。また、昨年12月2日に行われた「志布志市ふるさとまつりIN有明」でも同じく国際交流IN志布志を行い、前回のイベントに加えフェイスペイント体験も行い、多くの方に関心を持ってもらうことができました。市内在住の外国人も多数参加し、民族衣装体験やバンブーダンスの手伝いも手伝ってくれました。

今回の活動を通して、志布志市には世界中から多くの人が在住していることに関係者も改めて驚くとともに、国際交流都市の実現に手ごたえを感じるようになりました。今後は、世界の味店、民族服ファッションショー、民族文化交流等、まつりの一部ではなく、国際交流主体のイベントとしてさらに活動を広げてまいります。

保健師メモ

耳の話

突発性難聴について

3月3日は、耳の日です。耳の日は、昭和31年に社団法人日本耳鼻咽喉科学会が制定した記念日です。

一般の人々が耳に関心を持ち、耳の病気のことでだけでなく、健康な耳を持つことへの感謝、あるいは、耳の不自由な人々に対する社会的な関心を盛り上げるために制定されました。

耳の病気には、耳が痛いだけではなく、めまいなどを引き起こすものもあります。ひどくなってしまうと耳が聞こえないことになりかねませんので注意しなくてはなりません。

今月は、有名な歌手もかかっていることで最近話題になった突発性難聴についてご紹介します。

突発性難聴とは

字のとおり突然起こる難聴の一つです。特別なきっかけもなくほとんどの場合は片方の耳がある時突然に聞こえづらくなる病気です。

全国で治療を受けている人は、年間2万4千人と推定されます。統計的には40～50代、女性に多かったの



ですが、近年10～30代や男性の例も多くなっており、年齢や性別にわたる差は見られなくなっています。

原因は

毛細血管の血流が妨げられ内耳に血液が十分届かずに機能不全を引き起こすという内耳循環障害説、ステロイド剤（感染症に対して抗炎症作用を持つ）が効果をたすことからウイルス感染を原因とする説などがあります。ストレスも原因の一つではとされています。分野としてはあまり研究が進んでいないのが現状です。

症状は

軽度～重度の難聴と耳鳴りなどが中心で、それに加えて音が「異常に響く」「割れる」「二重に聞こえる」「音程が狂う」など、人によって様々な症状が現れます。めまいや吐気を訴えることもあるので、メニエル氏病と間違えられることもあるようです。ほとんどの場合片側のみに発症しますが、まれに両側性となる場合もあります。

発症時は「耳がふさがっているようだ（耳閉感）」「耳に水が入ったような感じが取れない」などの訴えのため難聴と気付かないことが多く、勘違いや誤診により治療が遅れてし

まうことがあるため注意が必要です。また突然の失聴による精神的負担は大きいものがあります。外見的に障害が見られず周囲の理解が得られにくいことに加え、健康体からの突然の発症からくるショックや、耳の異常を常時自覚せざるを得ないため、深刻なストレスと精神的苦痛を常に強いられることとなります。

治療とその後

適切な早期治療と安静が重要です。症状を覚した場合、速やかに耳鼻咽喉科の専門医の診断を受けることです。一般的には発症から約2週間以内が治療開始限度と言われており、これを過ぎると治療の確率は大幅に低下します。薬剤による治療開始が早いほど、その後の症状に大きな差が出ると言われております。気になる症状があれば早めに病院受診をしましょう。

症状が軽い例や早期に治療を開始した場合の予後は比較的良いと言われていますが、完治した場合でも何年も経ってから再発し症状が進行するような例も少なくありません。

その他耳の病気で多いものには、熱を出して耳が痛くなる病（中耳炎）があります。

いずれの病気でも、異常に気付く早く治療することが、大事です。一生お付き合いする自分の耳を大切にしましょう。

耳の日ならびに

アレルギー週間公開講座

■日時 3月9日（日）
13時30分～15時
■場所 鹿児島市勤労者交流センター 第1会議室（7F）

内容（予定）

- 第一部「難聴より良い聞こえを求めて」
- 1. 聞こえのしくみと難聴
- 2. 補聴器と人工内耳の正しい理解のために
- 第二部「花粉症」
- アレルギー性鼻炎の最新治療
- 1. 花粉症のうそ・ほんと
- 2. 小児アレルギー性鼻炎で気をつけること

■参加費 無料（整理券が必要です）
■対象者 一般市民 定員100人
■申込・問い合わせ先
鹿児島大学大学院歯学総合研究科 先進治療科学専攻感覚器病学

（旧耳鼻咽喉科学）
〒890-0852-0
鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
TEL 099-2751540-9
FAX 099-2641829-6
E-mail:enjm@mkufm.kagoshima-u.ac.jp
（※2月18日より受け付け開始します）



地球にやさしいことはじめよう！

中国からの輸入割り箸の多くは中国北部で森林をいっせいに伐採して作られ、伐採後は植林せず農地へと利用されています。そのため砂漠化や洪水などの被害が増大しており、中国政府は「森林保護」のため輸出を制限する施策を打ち出しています。一方、熱帯林からとれた割りばしは、組織が弱くすぐ折れてしまうのであまり流通していません。

「割り箸は環境破壊するの？」 弁当を買ったときやお店に食事に行ったときなど当たり前のように出てくるのが割り箸です。一年間に消費される割り箸は約240億膳。うち96%が輸入割り箸で、そのほとんどが中国産となっています。中国からの輸入割り箸の多くは中国北部で森林をいっせいに伐採して作られ、伐採後は植林せず農地へと利用されています。そのため砂漠化や洪水などの被害が増大しており、中国政府は「森林保護」のため輸出を制限する施策を打ち出しています。

「ものを大切に人を大切に」 今や「使い捨て」、「便利さ」を追い求める時代ではありません。「環境を考えるとどちらがいいのか」を考えるべきです。ものを大切にすることは、人を大切にすることにつながっていきます。そして良好な地域社会も形成されるのではないのでしょうか。皆さんも今日から新しい積極的な生活スタイルを始めませんか。

ごみは適正に処理をしましょう！



第3回 野井倉さん

「自分の地域はきれいにする」という心がけは、良好な地域社会を作っていくことに大変大きな役割を果たします。今、環境問題が正念場です。あなたもできることから挑戦しませんか！

今回、紹介する野井倉さんは有明町野神の県道広域農道と県道523号線沿いでマイロードクリン大作戦に参加しています。

毎週、日曜日に1時間以上かけて自宅周辺の道路約3kmのごみを拾っています。コースが長く、交通量も多いため落ちてくるごみの量はとて多く、コースの途中で一度自宅に帰って新しい袋に取り換えて後半を回ります。

この活動を始めたきっかけは、我が家から始めようエコライフ55説明会に参加した時「これなら私にもできそうだ」と、もともとウォーキングを行っていたので「歩いて健康になって、まちもきれいになるなら一石二鳥」と参加を決意しました。交通量が多いためごみの量が多いです。



交通量が多いためごみの量も多いです

環境省レポート

環境省で勉強している吉井啓剛主事のレポートを定期的にご紹介しています。

今回は、私が勤務している水・大気環境局の地下水・地盤環境室のことについてお知らせします。

まず、室長の藤塚さんですが、過去にセネガル(アフリカ)やインドネシアで勤務していたこともあり、語学がとても堪能です。また、昨年の秋に発足した水大気環境局の国際協力推進室長も併任し、地球温暖化対策の仕事も行っており、毎日忙しい日々を送っています。

室長補佐の佐藤さんは、国土交通省から出向しています。様々なことに詳しく、湧水、地盤沈下、国際関係など様々な業務を担当しており、室内の調整役もされています。

次に宮下係長です。宮下係長も国土交通省からの出向で、地盤沈下、国際関係の業務をしています。また、環境省では「平成の新名水百選」を選定するのですが、その準備を急ピッチで進めています。

もう一人の係長の西前さんは、私の直属の上司で、二児の母でもあります。水質関係や硝酸性窒素関係、湧水関係、国際関係を担当されています。アメリカの大学に留学経験もあり語学も堪能で、昨年別府で行われた「水フォーラム」で、とても流ちょうな英語で発表しました。そして、環境省職員である田中さん

環境省で勉強している吉井啓剛主事のレポートを定期的にご紹介しています。田中さんは、今年1月に「再チャレンジ」で環境省に入省し、地下水室に来たばかりで、前任者の業務を引き継ぎ、室内の予算関係を担当されています。私と同じく自治体から来ている方は、私のほかに2人います。熊本市の兼平さんは、水質関係を担当し、全国の自治体担当者との連絡を行っています。法律にも大変詳しく、分からないことがあると、よく教えてもらいます。富山県射水市の長面さんは、地盤沈下、「新名水百選」の担当で、準備に追われています。彼らとは、各々の自治体の様子等を話して情報交換をしています。次に加藤さんです。加藤さんは、仕事が円滑に進むように朝早くから、様々な準備をしています。また、旅費などの庶務の仕事を担当しています。最後に吉川さんです。吉川さんは、海外に長く住まれていたため、英語は堪能でパンフレット等の英訳の仕事等を行っています。このように私の職場には、様々な職歴や能力を持った方が集まっており、職場の皆さんと接するだけで非常に勉強になっています。今後さらにも多くの刺激を受け、様々な知識を取り入れていきたいと思っています。

新しい積極的な生活スタイルを！

地球環境問題「関心ある」9割 毎日のように地球環境問題が新聞紙上やテレビで報道されています。

平成17年7月の内閣府が行った地球環境問題に関するアンケート調査結果によると9割近くの人が地球環境問題に「関心がある」と回答しています。

私たちは地球環境が悪くなるのを防ぐためにどんな行動をしているのでしょうか。ある世論調査の結果をみると、国民の8割〜9割の人が照明や冷暖房をこまめに消したり止めたりしています。

市でも小中学生、高校生そして一般あるいは事業者を対象として、1月に環境に関するアンケート調査を



マイ箸で環境を守りましょう

実施しました。集計が済み次第早急に公表します。

割り箸は環境破壊するの？

弁当を買ったときやお店に食事に行ったときなど当たり前のように出てくるのが割り箸です。

一年間に消費される割り箸は約240億膳。うち96%が輸入割り箸で、そのほとんどが中国産となっています。

中国からの輸入割り箸の多くは中国北部で森林をいっせいに伐採して作られ、伐採後は植林せず農地へと利用されています。

そのため砂漠化や洪水などの被害が増大しており、中国政府は「森林保護」のため輸出を制限する施策を打ち出しています。

一方、熱帯林からとれた割りばしは、組織が弱くすぐ折れてしまうのであまり流通していません。

野焼きの禁止について

家庭から出るごみについては、種類や素材に応じて資源ごみまたは一般ごみとして排出、農業用廃びニールについては、産業廃棄物として処理をさせていただきよう願っています。度々、自宅の敷地内や畑で焼却しているとの通報が入ります。家庭用のごみや農業用廃びニールを焼却することは法律で禁止されており罰則も定められています。また、これらを焼却すると、ダイオキシンなどの有害物質が発生するなど、私たちの生活や農作物などに多大な影響を与えます。

みんなが住みよい環境を築いていくためにご協力をお願いします。

問い合わせ先

- 環境政策課環境政策係 Tel 474-1111 (内線133)
●志布志支所市民課環境衛生係 Tel 472-1111 (内線225)
●松山支所市民課環境衛生係 Tel 487-1211 (内線224)



ごみは適正に処理をしましょう！

志布志市 菜園

LA LA SOLEIL

Vol15. 草清重信さん (57歳)

「農業は土作りが何よりも大切で」と採れたてのブロッコリーを手に話す草清さん(有明町野神)は、この道24年目のベテランです。現在、約4畝の畑で有機栽培を行っており、収穫時期を迎え大忙しの毎日です。収穫は2月末頃まで続きます。草清さんが現在の有機農法を取り組み始めたのは「消費者の健康のために何かできないか」との考えからで、長い年月の間試行錯誤を繰り返して現在の化学肥料を一切使わない有機栽培を確立しました。近くには畜産農家が多く、収穫後には、その堆肥をたっぷり畑に入れます。しかし、それは野菜に必要な栄養分を畑に入れるばかりではな



ブロッコリーの出来栄を喜ぶ草清さん



牧草をすき込む直前の畑を見る市役所職員。この時点でも畑の土は柔らかいようです。この後、トラクターで耕し、ブロッコリーの苗を定植させます。

く、牧草(ソルゴ・とうもろこし)を育て、その成長した牧草をその場で裁断し、2か月程してから畑にすき込み緑肥とするためです。「こうすることで、微生物がたくさん入り畑の循環を促し、循環によって必要な栄養素ができていく」と草清さんは話します。また、ソルゴは根が深いので、有機肥料を吸収してもらおうと同時に、土をしつかりと分解してもらおうという効果があるといいます。また、ブロッコリーの連作障害を防ぐ目的もあります。好奇心旺盛な性格で、産業廃棄物について勉強をした時に現在の有機農法のヒントをつかんだといいます。また、多くの友人と情報交換を行い「安心・安全」な作物作りの研究を行っています。「何でもやる前に結果を決めつけるのはよくない」と机上の論理には疑問を投げかけ、挑戦することの大切さを訴えます。そして、これからも未来の子どもの健康のために有機農法に取り組み続けます。



農業は土づくりが大切と緑肥を使った長年研究した独自の有機農法に取り組む草清さん(有明町野神の畑にて牧草の裁断作業の様子)

Go!Go!志布志港

～国際物流拠点を目指して～

問い合わせ先 市役所港湾商工課 Tel. 474-1111 (内線 265)



たくさんのコンテナがひしめきあう大連の港

平成19年11月号でお伝えしました志布志港ポートセールス活動の後半、大連編をお届けいたします。**大連とは?** 大連(ダーリエン、Dalian)は中華人民共和国遼寧省の南部、遼東半島先端部に位置しており、西は渤海湾、東は黄海に囲まれ、海を隔てて山東半島があります。ほぼ北緯39度にあつて、日本の仙台市、アメリカ

上海・大連ポートセールス

大連編

カ合衆国のサンフランシスコ市、ワシントンD.C.、ギリシャのアテネ市と同じような緯度です。

大連港と志布志港

現在、大連港と志布志港の間には、神原汽船のコンテナ専用船が週に一度のペースで寄港しており、主に中国産の稲わらを志布志港に運んでいます。稲わらは、肉牛のえさとして利用されます。

今回、大連港を視察しましたが、遼寧省と内モンゴルの一部貨物を取り扱う港です。コンテナについては平成18年で250万TEUと志布志港の40倍以上を取り扱います。

※TEU: Twenty feet Equivalent Unitの略で、20フィートコンテナ1つを1TEUとして換算する。

稲わら工場を見学しました!!

今回の訪問の目的のひとつ、新しいシステムになった稲わら工場の視察を行いました。これは、中国産稲わらの安心・安全を高めるため、新しいシステムを導入した新工場の稼働が19年8月から始まったからです。工場の責任者は、「今回のシステムは、安心・安全には特段の配慮を



している。日本の政府が大連に常駐している。検査官の試験を合格した物だけが輸出できる仕組みになっている」と説明されました。

今回の視察を終えて

今回の視察は、志布志港と中国との航路の充実のために行われました。現在、中国は今年開催されるオリンピックのほかに平成22年の上海万博等を控え、目覚ましい発展を続けています。今回のポートセールスでは、志布志港の発展のため、中国との貿易の重要性に改めて気づかされました。



現場見学会の様子

ご案内

『現場見学』&『出前講座』

志布志港を
見に来ませんか?

整備状況を間近に見て聞いて知ることが出来る「現場見学会」を行っております。また、皆様のごところにおくがいで、志布志港整備事業の紹介や志布志港の歴史の紹介をする「出前講座」も承っております。詳細はホームページをご覧ください。下記連絡先までお問い合わせ下さい。平日ならいつでもOK! しかも無料です!!

国土交通省 志布志港湾事務所 TEL: (099)472-3831
E-mail: mailbox-k89d3@pa.qsr.mlit.go.jp
URL: http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shibushi/

教育委員会情報ネット

2月は生涯学習推進月間です

2月23日(土) 24日(日)

出かけよう集いの中へ 広げよう学びの輪

平成19年度 志布志市生涯学習フェスティバル

生涯学習推進大会

- 2月23日(土) 9:00～ 開会行事・表彰・学習発表
生涯学習まちづくり講演会「やんちゃ和尚の転んだら起きればいい！」
(浄土宗・西居院住職 廣中 邦充さん)

生涯学習グランドフィナーレ

- 2月23日(土) 13:00～ 講座生学習発表・開会行事・生涯学習表彰
生涯学習まちづくり文化講演会「夢への挑戦！～好きだから一生懸命～」
(横浜プリキのおもちゃ博物館館長 北原 照久さん)

講座生の舞台発表

- 2月24日(日) 9:30～

各機関パネル・講座生作品展

- 2月23日(土)・24日(日)

※「生涯学習ふれあい体験」「各種バザー」「お楽しみ抽選会」等が予定されています。生涯学習の一日をお楽しみください。

講師の紹介

プロフィール



廣中 邦充さん

「平成の駆け込み寺」として、家出・不登校・ひきこもり・いじめ・自傷行為などの問題を抱える思春期の子どもたちを無償で預かり、子どもの自立と社会復帰を支援する。TVや雑誌でも、その取り組みが紹介されるなど、注目を集め、これまでに399人の子どもたちを更正させた熱血和尚です。

プロフィール



北原 照久さん

テレビ東京「なんでも鑑定団」でおなじみの横浜プリキのおもちゃ博物館館長。中学校の頃、目標も夢もなく、街を徘徊する日々が続く。何度も補導され、挙句の果てに学校を退学となる。そんな自分を救ってくれたのが母の前向きな言葉。「ありがとう、母さん」感謝の言葉は人間が生み出した最高傑作。そんな人生を熱く語ります。



ワークショップに花が咲く

創年と子どもの交流のための指導者養成セミナー『しぶしぶIKI IKI I夢発見塾』が1月19日、72人が参加し、志布志市文化会館で開催されました。今回のテーマは、ふるさとの伝統文化を学び、子どもたちに伝えようと「ふるさと再発見！語り部養成講座」として行われました。最初に始良の地域アニメーターの麓宏吉さんが「今の子どもたちは、体験が少ない。体験によって生きる知恵が身に付く。私たち創年(新たな人生に挑戦する生涯現役を目指す人々の呼称)は、今まで培ってきた知恵を創年と子どものまちづくりに積極的に関わってほしい」と体験談をもとに基調提言をされました。次の『ふるさとの民族資料に学ぶ』子どもの遊びにみた歳時記』では聖徳大学准教授の神谷明宏先生が「創年は余計なお節介をしましよ。欧米の文化を安易に取り入れるばかりでなく、日本人が大事にしてきた文化を伝えることにより、日本人らしさを保持したい。そのためには、創年が積極的に伝統行事を通し、若い親と子育てに関わることが大切である。そのことが人と暮らして生命を繋げていく生活を伝えていくことになる。子どもたちの未来のために



ユニークな発表で会場は笑いの渦に

しぶしぶIKI IKI I夢発見塾

古き良き伝統の風をもう一度地方から吹かせてほしい」と熱く話されました。午後からは、福留強先生(聖徳大学教授)の『ふるさと歳時記、語り部の意義』では、「少子高齢化が進む中、今こそ、われわれ創年が、年中行事の意味を正しく伝えながら、体験を通し、子どもと親を巻き込んだ生涯学習のまちづくりに取り組むことが必要不可欠である」と結ばれました。そのあと、『ふるさと歳時の

視聴覚教育教材コンクールで入賞

1月19日、平成19年度県自作視聴覚教育教材コンクール及びアマチュアビデオ作品コンクール表彰式が、鹿児島市のかごしま県民交流センターで行われました。本市からは作品が4点出品され、優秀賞、優良賞、努力賞を受賞しました。

本年度の自作視聴覚教育教材コンクールは、県内から63品の応募があり、本市の原田&佐藤グループ「技にチャレンジ！」が優秀賞、穂満グループ「総合的な学習(職場体験学習)についてのHP」が優良賞、二宮グループ「おしえてじいちゃんばあちゃん」福永グループ「チャレンジ昆虫標本」共に努力賞と、出品したすべての作品が入賞しました。また、原田&佐藤グループの優秀賞は、旧志布志町時代から志布志市



優秀賞の原田&佐藤グループ

にかけて初の快挙となりました。なお、優秀賞の原田&佐藤グループの作品は、平成20年度9月に行われる全国視聴覚教育教材コンクールに出品されます。これから、視聴覚教育研究会のご活躍と視聴覚教育分野における益々の発展を期待します。

志布志市介護予防講演会 文化会館自主文化事業

演題: ~健康で長生きのコツ教えます~ 「がんばらない」けど「あきらめない」

鎌田 實 講演会

(諏訪中央病院名誉院長/チェルノブイリ連帯基金理事長)

経歴

- 1948年 東京に生まれる 1974年 東京医科歯科大学医学部卒業
- 1974年 長野県諏訪中央病院にて地域医療に携わる
- 1988年 諏訪中央病院の院長に就任
一貫して「住民とともにつくる医療」を提案、実践
15年間、チェルノブイリの救護活動に参加
- 1994年 その活動で『信濃毎日新聞賞(国際医療協力)』受賞
- 2000年 『平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞』受賞
- 2001年 ベラルーシ共和国大統領より『フランチェスカ・スコリーヌイ勲章』を受賞
- 2006年 『読売国際協力賞』を受賞



期日 平成20年3月21日(金)

開演 18:30 (開場 18:00)

会場 志布志市文化会館ホール

※入場は無料ですが、整理券が必要になります。(自由席)
【取扱所】…市文化会館・やっつくふれあいセンター・市役所売店・(株)島津・三味堂・くにも書店・サンポートしぶしアピア・市内郵便局(簡易郵便局を除く)

問い合わせ先
本庁保健課 Tel 474-1111(164)
文化振興課 Tel 472-1111(340)

心のふれあう共育を！

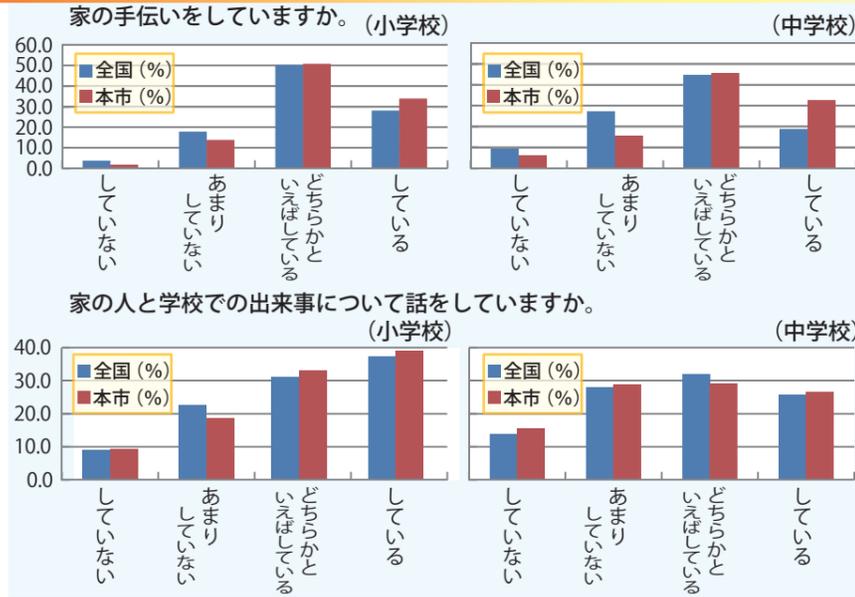
～平成19年度「全国学力・学習状況調査」の結果（その2）～

今月も、先月に引き続いて「全校学力・学習状況調査」についての紹介をいたします。1月号では主に本市の小中学生、中学生の学力の結果について説明しましたので、今回は生活面における調査の中から、特に「家族とのふれあい」をキーワードにして、全国と比較してみたいと思います。

Q5 家庭でのコミュニケーションは？

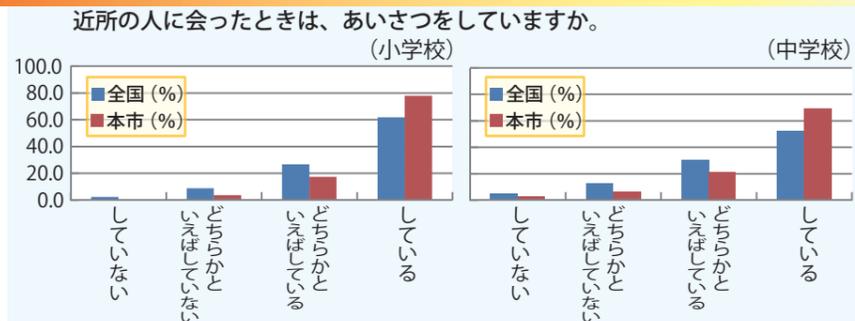
本市の子どもたちは、手伝いをしている方だと言えます。これは、親がしつけの一つとして「させている」結果の表れであると考えられます。

しかし、手伝いはしていながら、親子の会話については小学生より中学生の方が少ないようです。中学生は心身の成長に伴い、自分を見つめる時期に入っています。理想と現実の間（はざま）で悩み、苦しみ、大人を拒否する場合がありますが、人生の先輩である親の適切なアドバイスは大切です。勇気を持って接してください。



Q6 地域とのふれあいは？

志布志市は全国的に見ても、地域行事が盛んであると言えます。大人を子どもが知り、子どもも大人を知っている町づくりが、気負うことなくできています。「気持ちのふれあう町づくり」あいさつに関する調査にその結果が表れています。



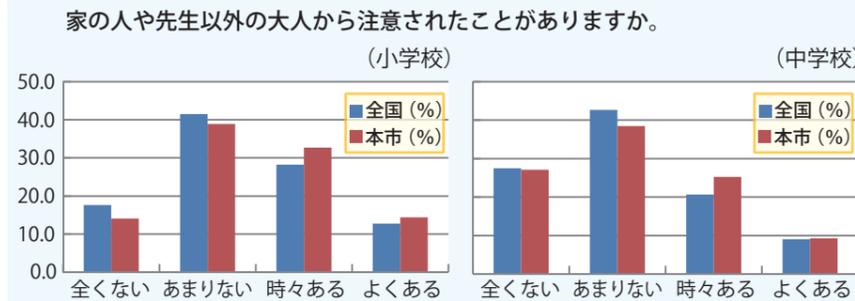
Q7 私たち志布志市の大人はこれからどうあればいいの？

聞き分けのある大人であると同時に、聞き分けのない大人であるべきです。

右のグラフでは、大人から注意されたことのない子どもが多い、という結果が表れています。大人と子どものふれあいが良好な私たちの町では、大人と子どもの信頼関係もできています。

だからこそ、大人の本心から来る言葉は、子どもの心に響かずです。

わがままは許されないことや、社会のルールを守ることの大切さを厳しく教えるべきであると考えます。筋の通った厳しいしつけは本当の思いやりであり、究極の愛情です。自信を持って注意し、そして、やさしく語りかけてください。



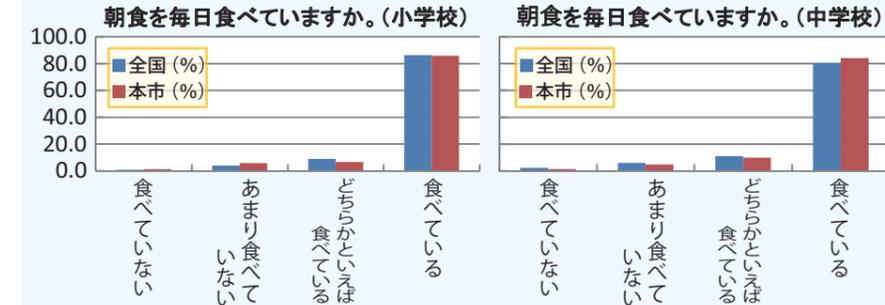
平成19年度「全国学力・学習状況調査」を振り返って

子どもの人生は大人の教育に関わっています。家庭における人格形成づくりの基盤の上に学校教育は成り立っており、学校教育における友だちや教師など、多くの人々との体験的活動を通じた学習により生活力は培われていきます。2か月に渡って、子どもの学力や生活面についてお伝えしてきましたが、これだけの分析で、志布志市の子どもたちのすべてを把握するには不十分な面があります。しかし、志布志市の大人と子どもが共に考えていかなければならない教育（共育）について、少しは御理解いただけたのではないのでしょうか。

志布志市教育委員会では、これからも子どもたちの健全育成のために努力を続けてまいります。

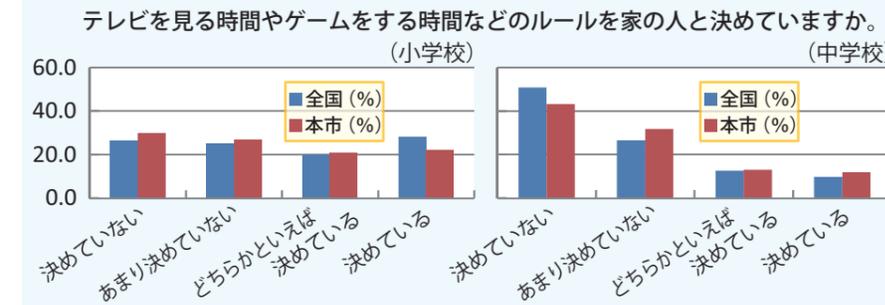
御意見・御感想がありましたらいつでも御連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

Q1 1日のエネルギーの源は？



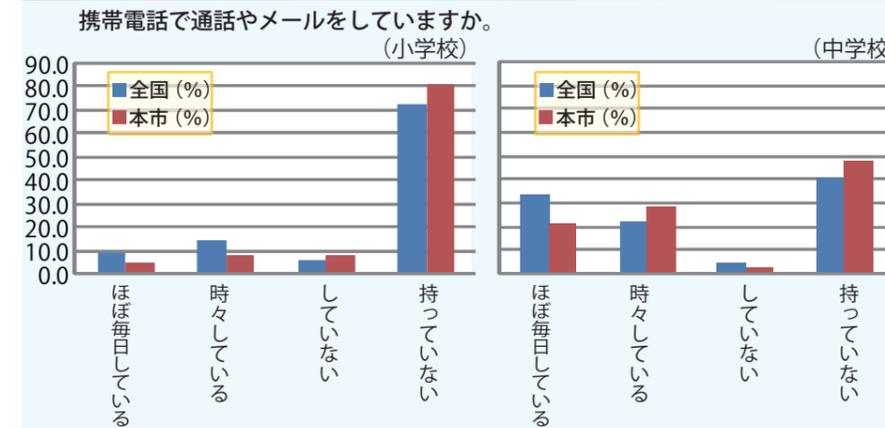
本市の「おにぎり大作戦」でも推進しているとおり、1日のエネルギーの源は朝食です。本市の子どもたちは、全国に劣らず、朝食をきちんととっているようです。これからは、さらに栄養のバランスも考えると良いでしょう。

Q2 家庭でのきまりは？



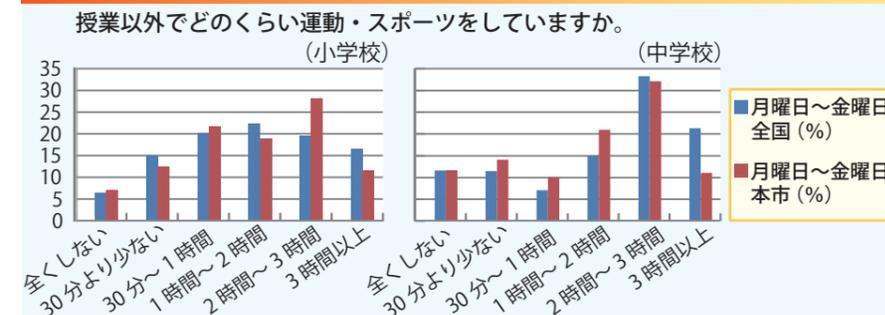
「私は子どもを信じています。」この言葉は一見、良さそうに見えますが、「しつけ」なしの信頼は、子どもにとっての不幸に他なりません。一例ではありますが、テレビやゲームの時間を決めていない家庭は、全国でも本市でも少ないようです。

Q3 携帯電話は持たせてもいいのですか？



基本的には保護者の判断によりますが、教育関係者は皆、口をそろえて好ましくないと答えています。Q2でも明らかのように、モラルやメールに関するしつけの不十分さから子どもへの被害だけでなく、子ども自身が加害者になるケースも発生しています。問いにある「通話やメール」以前の問題を保護者は真剣に考えるべきでしょう。

Q4 運動やスポーツの量は足りていますか？



全国平均に比べ、本市の中学生は運動量が少ないようです。事実、文科省が実施している「児童生徒体力・運動能力調査」でも本市の子どもたちは瞬発力や柔軟性が弱い傾向にあるとの結果が出ています。

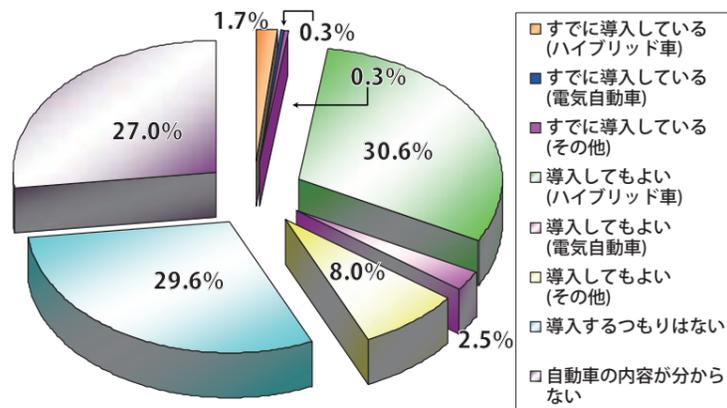
地球にやさしい 新エネルギー の導入に向けて

Vol.11
新エネルギー導入構想について③

市では環境に優しい「新エネルギー」の導入を目指しています。これまで導入に向けた各種調査結果、アンケート結果、導入の基本方針などについて紹介してきました。今月は導入の基本方針に基づいた具体的な導入構想についての最後の紹介となります。

クリーンエネルギー自動車とは、ガソリンや軽油の利用を減らし、二酸化炭素などの排気ガスを抑えて動く自動車のことで、最近注目されているハイブリッド自動車や電気自動車などがあります。環境に優しいクリーンエネルギー自動車の導入については、皆様にご協力をいただいたアンケートによると、市民の4割を超える方が導入に積極的な考えを持っていらっしゃるが既に導入されています。

クリーンエネルギー 自動車の導入構想



この結果を受けて、市としても積極的に導入し、広報することにより、さらに普及が進んでいくと思われることから、具体的に市公用車への導入を検討しました。

【想定条件】
 ● 導入の台数………5台
 ● 従来車の燃費………10km/ℓ
 ● クリーンエネルギー自動車の燃費………20km/ℓ

【概略収支】
 ● ガソリン単価………147円/ℓ (平成20年1月現在県内レギュラーガソリン平均価格)

中小水力発電の導入構想

中小水力発電とは、大型のダムを使う水力発電ではなく、水道管の中の水流や、水路のわずかな落差を利用して発電する小規模な(1000ℓ以下)水力発電のことです。志布志市の新エネルギーの存在量の中で、中小水力発電の占める割合では1.3割とわずかですが、公共施設等への電力供給については十分



主なクリーンエネルギー自動車

● 経費削減量………110万円/年
 ● 車両予想価格(補助適用後)………675万円/5台
 ※クリーンエネルギー自動車と通常の車輦との価格差が補助されます。

【環境効果】
 ● 二酸化炭素(CO₂)削減量………1万7400ℓ/年
 ● ドラム缶換算原油削減量………34本/年
 クリーンエネルギー自動車の広報や、環境問題への啓発となりますが、5台以上の同時購入という補助制度の条件があります。

量が存在します。なので、具体的に検討をしました。

【想定条件】
 ● 流量………2.0m³/秒
 ● フランシス水車出力………723ℓ
 ● 耐用年数………15年以上

【概略収支】
 ● 予想収支………9374万円/年 (業務用電力Aの平均単価を適用)
 ● システム価格(補助適用後)………5億5008万円

【環境効果】
 ● 予想発電量………6334MWh/年 (約1320世帯/年分)
 ● 二酸化炭素(CO₂)削減量………3515t/年
 ● ドラム缶換算原油削減量………8091本/年
 公共施設へ電力を供給することで、経費削減や、また災害時の非常用電源として活用できますが、水利権の交渉や売電先との打ち合わせが必要です。

次回は新エネルギーの普及・啓発活動や、今後の導入推進について紹介します。



フランシス水車の仕組み

図書館へ行こう!

図書館情報

★BOOKS

● 休館日(休館日は本館及び各分館・移動図書館の全てが休みになります)
 ○ かみふうせん読み聞かせ会 14時～
 ○ 本館読み聞かせ会 14時～

February 2月						
日	月	火	水	木	金	土
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	
March 3月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22

今月のテーマ図書
「大河ドラマ 篤姫」

今月のテーマ図書
「あったか料理」

新刊案内

● 「ズッコケ中年三人組 age42」 那須 正幹 著
 架空の町の稲穂県ミドリ市花山町を舞台にした「ズッコケ三人組」シリーズ。ハチベエ、ハカセ、モーちゃんも42歳。今回はモーちゃんの娘とハチベエの長男にまつわる物語。フォークデュオ・ゆずも登場する。

● 「ブルーバレンタイン」 新堂 冬樹 著
 手塚アリサ、20歳。幼い頃、青いペンダントをつけた男に家族を暗殺された彼女は、暗殺組織に育てられ、バレンタインというコードネームで怖がられていた。やがて、家族を殺した男に繋がる任務につく……。携帯小説を書籍化。

2月23日(土)・24日(日) 図書館まつり開催

● 2月23日(土) 午後 2時～
 読み聞かせ会(本館会議室)
 ● 2月24日(日) 午前 10時～
 ブックマーケット(本館正面玄関前広場)
 ● 読書感想文・感想画コンクール特選作品を展示します。

昨年ブックマーケットの様子

読み聞かせサークル「つくしんぼ」結成

この度、新たに読み聞かせサークル「つくしんぼ」が誕生しました。メンバーは有明地区のみなさんを中心に男性1人、女性8人の計9人です。代表者は有明在住の春田良子さんです。現在は、乳児健診時のブックスタートでの読み聞かせが中心ですが、今後は活動の場を広げていきたいとのこと。元気いっぱい、楽しくがモットー。ご活躍を期待します。

読み聞かせサークル「つくしんぼ」の皆さん

毎月23日は「子どもといっしょに読書の日」

各分館の読み聞かせ会
 ● 2月16日(土) 午後1時～ 有明分館(改善センター内)
 ● 2月2日(土)・16日(土) 午後2時～ 松山分館(やっちくふれあいセンター内)

お願い 図書館の本は、市民の大事な財産です。図書資料を紛失したり、破損等のないよう大切に利用しましょう!(最近ペットによる破損が多く見受けられますので注意してください) ※紛失や破損等は、必ず窓口にご相談下さい。

本を大切に!

【お詫び】1月号で掲載しました、クリスマス読書会の期日が29日となっておりますが22日の間違いでした。訂正して、お詫びいたします。 2008.2 市報しづし 26

■問い合わせ先 企画政策課男女共同参画係 Tel 474-1111 (内線 250・256)
「男女共同参画に関する住民意識調査報告書」は、市のホームページや図書館、公民館で閲覧することができます。



男女でつくる うるおいと活力あるまち



●企画政策課男女共同参画係
Tel 474-1111 (内線 250・256)
URL: <http://www.city.shibushi.lg.jp>

女性支援相談室・フリーダイヤルをご利用ください

女性支援対策室では、市内にお住まい又は勤務される女性を対象に、女性相談員による相談・電話無料相談を行っています。

- 相談室開設日：毎月第1・3水曜日午後1時～5時
- 開設場所：有明農村環境改善センター内
- フリーダイヤル（平日、午前8時30分～午後5時）
な や む お ご じ ょ



0120-786-054

「志布志市男女共同参画基本計画(案)」に対するご意見募集を終了しました

市では、男女共同参画社会の実現のために、男女がともに認め合いいきいきと輝くまちづくりを目指した志布志市男女共同参画基本計画(案)を策定しています。

今回、市民の皆様の意見を行政に反映させるためパブリックコメントを実施し、計画案に対するご意見を募集しました。皆様から寄せられましたご意見は、計画策定の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

計画書については、3月末に公表し、ダイジェスト版で広くお知らせいたします。

■問い合わせ先

「志布志市男女共同参画基本計画(案)」に対するご意見募集を終了しました

市では、男女共同参画社会の実現のために、男女がともに認め合いいきいきと輝くまちづくりを目指した志布志市男女共同参画基本計画(案)を策定しています。

今回、市民の皆様の意見を行政に反映させるためパブリックコメントを実施し、計画案に対するご意見を募集しました。皆様から寄せられましたご意見は、計画策定の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

計画書については、3月末に公表し、ダイジェスト版で広くお知らせいたします。

「農山漁村女性の日」とは、女性の社会活動への参加を促し、21世紀の農山漁村の発展に向け、女性の役割を正しく認識し適正な評価への機会を高め、女性の能力活用を促進することを目的として、農林水産省より昭和62年に「農山漁村婦人の日」が設けられ、平成10年に「農山漁村女性の日」と改め、女性の能力(知恵、技、経験)をトータルに発揮できるようにと設けられた日です。

「農山漁村女性の日」が3月10日と決められたのは、3月上旬は農林漁業の作業が比較的少ない時期であり、また、古くから女性の自主的な活動が行われ、女性が学習や話し合いをするために適切な時期であることなどによるものです。

3月10日は「農山漁村女性の日」です

「志布志市男女共同参画基本計画(案)」に対するご意見募集を終了しました

市では、男女共同参画社会の実現のために、男女がともに認め合いいきいきと輝くまちづくりを目指した志布志市男女共同参画基本計画(案)を策定しています。

今回、市民の皆様の意見を行政に反映させるためパブリックコメントを実施し、計画案に対するご意見を募集しました。皆様から寄せられましたご意見は、計画策定の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

計画書については、3月末に公表し、ダイジェスト版で広くお知らせいたします。

「志布志市男女共同参画基本計画(案)」に対するご意見募集を終了しました

市では、男女共同参画社会の実現のために、男女がともに認め合いいきいきと輝くまちづくりを目指した志布志市男女共同参画基本計画(案)を策定しています。

今回、市民の皆様の意見を行政に反映させるためパブリックコメントを実施し、計画案に対するご意見を募集しました。皆様から寄せられましたご意見は、計画策定の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

計画書については、3月末に公表し、ダイジェスト版で広くお知らせいたします。

「志布志市男女共同参画基本計画(案)」に対するご意見募集を終了しました

市では、男女共同参画社会の実現のために、男女がともに認め合いいきいきと輝くまちづくりを目指した志布志市男女共同参画基本計画(案)を策定しています。

今回、市民の皆様の意見を行政に反映させるためパブリックコメントを実施し、計画案に対するご意見を募集しました。皆様から寄せられましたご意見は、計画策定の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

計画書については、3月末に公表し、ダイジェスト版で広くお知らせいたします。

「農山漁村女性の日」とは、女性の社会活動への参加を促し、21世紀の農山漁村の発展に向け、女性の役割を正しく認識し適正な評価への機会を高め、女性の能力活用を促進することを目的として、農林水産省より昭和62年に「農山漁村婦人の日」が設けられ、平成10年に「農山漁村女性の日」と改め、女性の能力(知恵、技、経験)をトータルに発揮できるようにと設けられた日です。

「農山漁村女性の日」が3月10日と決められたのは、3月上旬は農林漁業の作業が比較的少ない時期であり、また、古くから女性の自主的な活動が行われ、女性が学習や話し合いをするために適切な時期であることなどによるものです。

「志布志市男女共同参画基本計画(案)」に対するご意見募集を終了しました

市では、男女共同参画社会の実現のために、男女がともに認め合いいきいきと輝くまちづくりを目指した志布志市男女共同参画基本計画(案)を策定しています。

今回、市民の皆様の意見を行政に反映させるためパブリックコメントを実施し、計画案に対するご意見を募集しました。皆様から寄せられましたご意見は、計画策定の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

計画書については、3月末に公表し、ダイジェスト版で広くお知らせいたします。

4月から 特定検診・特定保健指導がはじまります

不健康な生活習慣を続けていると内臓脂肪が蓄積し、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の原因となります。さらに、その状態を放置しておくと、脳卒中や心臓病(心筋梗塞など)、糖尿病合併症などの生活習慣病を引き起こす危険が増大します。

そこで、新しい健診・保健指導では、メタボリックシンドロームとその予備群を見つけ、生活習慣病を予防するプログラムが組まれます。

特定健診の対象となる人

- 40歳～74歳の人すべて ●
- 40歳以上74歳以下の、国民健康保険や被用者保険(健康保険)の被保険者と被扶養者の全員が対象となります。これまで健診を受けてこなかった被扶養者(家族)の人や、退職された人も受けことになります。

実施主体は医療保険者

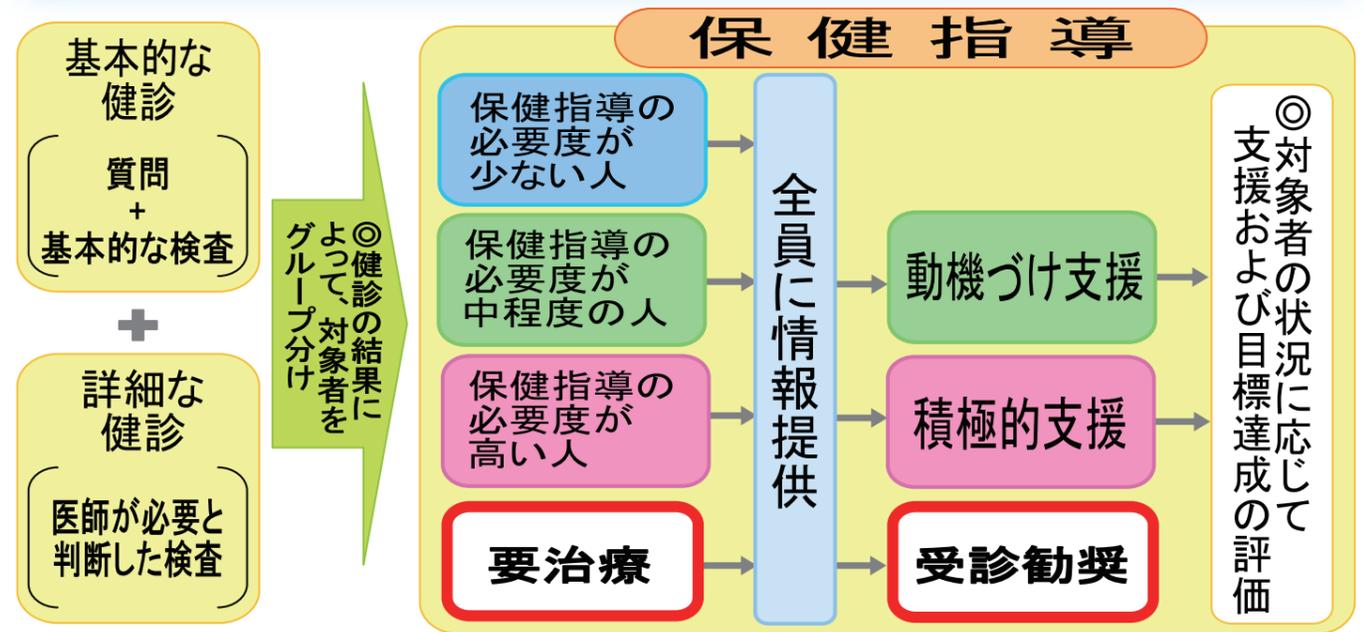
- 市区町村ではありません ●
- これまで市区町村などで受診していた人についても、平成20年度以降は国保などの医療保険者が実施の主体となります。



新しい健診 保健指導の流れ

全員を対象に「基本的な健診」(腹囲やBMI※)計測を含む)を行った上で、医師が必要だと判断した人には「詳細な健診(精密健診)」も行われます。また、健診結果や質問票の内容をもとにして、保健指導の必要度がグループ分けされます。

※BMIとは肥満度の指標で、次の式で求められます。BMI=体重(kg)÷〔身長(m)×身長(m)〕
BMIが2.5以上だと肥満と判定されます。



生活習慣を改善して内臓脂肪を減らそう

メタボリックシンドロームになる主な原因は、不適切な食生活や運動不足です。また、喫煙は動脈硬化を進行させる原因のひとつになります。

福祉に関する相談は各地区の民生委員、主任児童委員へ！

松山地域

氏名	担当地区
郡セツ子	西馬場三区、駅通り、城西団地、西馬場団地
中原雄子	西馬場一区、馬場、わらびの、前田、馬場団地
大迫チツ子	射場、久保園、仮屋、草之瀬、東草之瀬
池田ふみえ	東野久尾、野久尾、上野久尾、元まこも、まこも河床
豊留勉	宮田上、西豊留、中豊留、上豊留、下豊留、井手間、上松、あじさい団地
西村勝憲	狩川一区、狩川二区、大谷、表、川路三区、川路二区、川路一区
堀之内絹子	畑村釘、本町、元町、上町
今市悦子	京ノ峯、南中、堀之内、川東、市ノ原、白坂、京ノ峯団地
坂ノ上きよ子	川西、西ノ原、後町、畑中、上西中、新西中、桜山団地、みどり団地、西ノ原団地
原口和任	川端、川中、池ノ上、宮ノ上、川北、内之野、なのはな団地
尾上徹夫	中原、宮下、柏木、古渡、尾野見住宅、中原団地、さゆり団地、さくら団地
津曲美奈子	下井手口、中井手口、上園、大谷、大野原、稲ヶ迫、暁
山下治子	大統、上中村、下中村
新村辰郎	桃木、有野
徳増恵	主任児童委員
原田通子	主任児童委員

志布志地域

氏名	担当地区
飛松真理子	上・中・下西谷、中学校通
大山博美	北大原
田原作一	大原、南大原
松崎三朗	上・中・下・新田屋敷、宇都
下村絹子	沢日記、高浜、新屋敷、若宮
淵上思無邪	上・中・下大性院、上・下志布志屋敷、小淵、坂之上
坂元彦磨	宝満、天神、松原
西菌則子	上天神
後藤康子	向川原、小浜
浜崎修身	夏井
閨野節子	外之牧、益倉、別府、二反野
岩崎アキ子	馬見ヶ塚、平和、南高吉、毛穴野
土園久子	東・西弓場ヶ尾、弓里、柳、下柳、棚ヶ下がり
外牧廣美	東・西横尾下、横尾上、西内之倉
森山久雄	新道、金屋、大諏、紺屋
中山泰一郎	上・下有明、仲町、道場、西町
又木ナミ子	南下町、東・西水洗、上・下八坂
池之上保	上・中・下関屋、関屋団地、海洋団地、横町関屋
和田義弘	上大黒1・2、中大黒1・2
牧之瀬和子	下大黒1・2・3、大浜東

志布志地域

氏名	担当地区
森元早苗	上昭和、昭和台
町田益範	昭和、新町1・2・3
吉原純幸	上・下小西、駅通り、興和、大浜西
長野頼子	水ヶ迫団地、清水、東清水、清水中央、南清水
藤山三男	六月坂、香月
柳政利	町原
高吉玲子	朝日町、若浜、若浜新生町、東町団地
風呂谷一男	若浜中央・南・西、大浜、渚町
平田行廣	松波住宅、高札、鳥井下
米田司春	緑ヶ浜団地、若葉団地、寿町、稚子松、桜ヶ丘、寿住宅
高吉峯行	曲瀬、中島、高吉、大迫
木元久夫	上門、上宮内、平城
吉松辰志	下宮内、平床、前畑
黒石直博	宮脇、安良、曙
竹田憲男	中宮(2月1日より新任)
祝田由紀子	一丁田、上之浜
大迫力雄	森山、今別府、山裾、道重、上道重
山内ヒミ子	樽野、上樽野、橋之口
田浦安徳	吉原、牧野、田吹野、大久保
村岡政美	平山、宮地、上・下東谷
山中俊雄	山久保、井久保、丸岡、大越
谷元ハル子	後谷、提口
溝口六郎	柳井谷、田床、天堤、鎌石
福留保	大川内、中川内、片野
柳ミキ子	潤ヶ野、福島渡、上出水
横峯聡子	佐野、横峯
北村美次	池野、倉園、馬庭、八郎ヶ野
吉徳伸一	主任児童委員
大脇裕子	主任児童委員
川野千代子	主任児童委員

有明地域

氏名	担当地区
福岡徹	菅牟田、風八重、室太郎、楢ヶ原、竹崎
福留文雄	下縄瀬、上縄瀬、黒葛、牛ヶ迫、土江
黒川佑子	東山之口、中山之口、西山之口、中央、中山之口住宅、伊崎田団地、伊崎田小前団地
寶永イツ子	茗ヶ谷、宝永、飯野、丸岡、字尾
和佐俊子	川路、宮塩、中野、本村
重田生二	伊崎田鍋、久木迫、高下谷
森重美保子	猜ヶ宇都、仮屋、小松、牧ノ内、小松の里、志陽
野口スズ子	下野井倉、野井倉、共和、飯山、豊原、中次
岩根正夫	中央吉村、中吉村、西吉村、南吉村、中原、西穂成、野吉住宅、吉村住宅、前原団地
曾原幸子	穂成、土橋、坪山、早馬、東吉村、吉村、野吉、吉野
木村美代子	上肆部合、中肆部合、下肆部合、上高吉、高吉、第一上苑、肆部合住宅、大角住宅
西山祥一郎	通山、通山住宅、山下住宅、下通山、ラフォーレ松原
八久保八重子	押切西、押切東、春日
久木井洋子	蓬原中野、重田、上馬場
中村睦子	片平、東大久保、西普現堂、上普現堂、普現堂
野尻トミ	西馬場、下馬場、蓬原団地、西大久保、西上馬場、馬場、大久保
榎添登美子	下宇都、上宇都、平山、元平山、花立、上大久保
小野朱実	宇都鼻、下宇都鼻、荷返、中須、供養松、宇都団地
北村政治	東中組、西中組、高井田、西下、東下、前村、原田団地
安藤敦子	東原東、東原中、東原西
宮吉涼子	草野、宮下、立本、下原、岩瀬戸
東條詔子	岩屋、頭方限、中方限、下方限、野神小住宅、野神団地
春田良子	倉ヶ崎、曲、本地、水ノ谷
本田誠	下平野、上平野、柳谷、平野、山重団地、上山重、山重
篠原順子	野神鍋、山重鍋、川添、田淵、稲荷下
樺山資次	芝用、沢津ヶ峯、抜谷、清水、五ヶ丘、芝用住宅、新沢津ヶ峯
稲付利昭	主任児童委員
安水忍	主任児童委員

市長コラム

本田修一

ふるさと

先日、伊崎田中学校の選層同窓会に参加させていただきました。私も年生まれで、今年60歳となります。同窓生が130人いる中で、地元に残っている方は僅か12人であつたという事に驚きました。当時は高度経済成長の中、多くの方が仕事を求めて都市部へ飛び立ち、日本の成長を支えたのだという事を改めて実感しました。「つぎ追いかの山」で始まる文部省唱歌「ふるさと」の歌詞に「志をはたしていつの日にか帰らん」の一節があります。今、故郷を離れている多くの方もあるのではないのでしょうか？

現在、総務省では「ふるさと納税」について研究会で議論が行われています。これは地方格差で、過疎など、税収減に悩む地方自治体に格差是正を推進するための新構想で、菅義偉総務相が平成19年5月に創設を表明したものです。地方では、個人に対する人材育成のコストを負担していますが、卒業すると都市部に就職する場合はほとんどになります。「ふるさと納税」が創設されれば「このよくな矛盾や格差を無くしたい」都市部においても生まれ育った故郷の

ために力になりたい」という方が「ふるさと納税」を行うのではないかと思います。研究会の議論の行方を見守っているところです。

しかし、お金も大切ですが、多くの若者や子どもたちの賑やかな声が市内各地で聞こえる「ふるさと」であることの方が大切です。市が発展し、多くの若者が働く場を得られるような政策を今後も取り組みたいと思います。

話は変わりますが、今年「北海道洞爺湖サミット」が開催されます。今回のサミットでは政治経済のほか「環境問題」が大きなテーマの一つに掲げられています。

現在、志布志市は、日本一のごみの資源化率を目指して取り組んでいます。次の世代に美しい環境を残すことはもちろんですが、このことが日本中に浸透することで、食の安全が叫ばれている農畜産物についても、きっと高い評価が与えられ、市の発展につながると思います。

では、私たちはどうすればよいのでしょうか。テレビやラジオのCMで「知っている人からして人へ」という言葉を耳にします。「マイバックを使用する」「ゴミを捨てない」等、知っていることを実行するだけで大きく変わっていくと思います。そのような一人ひとりの小さな行動が大きくなっていくことを願っています。

正夫さん(92歳) フチノさん(90歳) 松山町尾野見
 正夫さんは終戦後に大工として活躍し、数十棟の家を建てました。市内でも多くの方が今でもその家に住んでいるといいます。とても元気な正夫さんでしたが「60歳を機に区切りが良いので」と大工の仕事を辞めました。

あたらや 元氣やっど



夫婦円満が長寿の秘訣!

その後は、約30年間ゲートボールに夫婦そろって参加し、県内外の大会にも数多く出場しました。また、魚釣りや山芋掘りなども最近まで行っていました。現在は、孫の飼っているイノシシの様子を見に行きエサを与えたりするのが日課で楽しみだといいます。

また、好きな野球や相撲、時代劇といったテレビ番組が好きで、公民館で行われるイキイキ教室で上映される映画を見るのを楽しみにしています。

晩酌はしませんが、正夫さんはタバコを少しとフチノさんは薬用酒を少し楽しむそうです。また、近くに子どもや孫も住んでいますが、食事は今でもフチノさんが作っています。

たくさんの孫やひ孫が時々遊びに来るのを楽しみに夫婦仲良く暮らしています。

(松山町泰野)

しょう 匠ちゃん(3歳) (母: 千草さん)

かづま 麗真ちゃん(6歳) (母: 千奈津さん)

匠は1人っ子ですが、従兄弟の麗真と一緒に暮らしているので、長男だけど次男育ち、少しわがまま(T_T)だけど、お手伝いもするし、趣味は小さなごみを拾うこと?そしておじいちゃん、おばあちゃんが大好きです。(千草)

麗真はいつも元気いっぱい!好奇心で小さい体ながらもたくましく育っています。これからも人に思いやりをもち笑顔で大きく育ってね。(千奈津)



ななみちゃん(2歳)

(志布志町帖)

父 寿さん 母 千春さん

おしゃべりも上手になり、毎日楽しく家族みんなを笑顔にしてくれています。ありがとう♥

これからも、元気に遊び、たくさんの経験をして大きく素敵な女の子になってね!

(両親より)



れな 玲菜ちゃん(5歳)

たくま 拓磨ちゃん(3歳) (有明町伊崎田)

父 健一郎さん 母 ゆかりさん

姉弟げんかは、するけど仲はとってもいいです。

弟思いの玲菜ちゃん、姉思いの拓磨ちゃんです。

これからも仲良く元気いっぱい育ってね!
(両親より)

文芸

短歌 (南船松山短歌会)

裸足では呼吸する土も踏まずなり大地の匂ふつじの花めぐり
 ステロイド止めしリウマチの子を責めてあるらし今宵はジャズの高鳴り
 退院の吾が家の障子も張り替へて灯明点す嫁の手さばき
 年越の蕎麦打つ度に姑徳ぶ丸く広がる技におよばず
 天然はやつぱりいいねと前田温泉カジロガ湯とうその訳は知らず
 思い出をたぐり寄せては年賀状読みかえすなり日だまりの縁
 わが庭にはじめて採れし伊予柑をじき子に供うるつふやきながら

畑 美佐子
 前原 恭
 永田ミツエ
 隈元 チエ
 山口 良子
 野口 順子
 石橋 道子

Japanese poem of 31 syllables *Hokku poem *Comic Haiku *2008-2

俳句 (ぎんなん俳句会)

縁側の日に拍手のお元日
 日を連れて雀三羽や初賀客
 寒椿生死についてふと思ふ
 ちゃんちゃんこ着てまるやかにけり
 瞑想と思惟の随に冬銀河
 数の子や膝を揃えて三世代
 すれ違う破魔矢の鈴音みな優し
 出張の夫の荷造り初時雨
 夢あらば冬の北斗の酌に汲め

濱松 精志
 河野 通人
 富山 達次
 米澤 二郎
 森下 純吐
 富山 茂子
 北野 治美
 吉村 万里
 和田 洋文

短歌 (はなさい短歌会)

パロックの楽の音低き冬の朝凍て土踏んで近づくは誰ぞ
 凜とした杜に輝く初日の出無病息災太鼓奏でる
 あくまでも大根の色白くあり無垢な味覚が句を彩る
 印刷の賀状に一言「元気です」と肉筆ありて心潤う
 成人式和服に似合う髪形は時代を移し奇異にうつる
 はだか木を啄ばむ鳥の日々増えて寒に泳える緑萌え初む
 冬晴れの田の神行脚べダル漕ぎ田ごとの小鳥仰ぎつつゆく
 新年の想いたぎらせ元旦に礎固め歳を占う

南 史郎
 内山 幸夫
 江口さくら
 折田 縫子
 小宮 展子
 西 恭子
 肥後 洋子
 満園 正夫

さつま狂句 (有明町さつま狂句同好会)

孫曾孫名前が出らん女房も高齡
 将来かいけないか知れんが雛御祝
 茶碗洗れ一っじゃつどん億劫きこつ
 飯茶碗并い換えた伸っ盛い
 将来のこつ言なち婆じま昔しゅっ言っ

丸目南兵衛
 藤後 一雄
 野崎 満夫
 畑山 敏昭
 宮原 照見



松山泰野校区の鬼火焚き



正月に咲いたひまわり (霧岳)

俳句 (左右句会)

爺と婆の談話老人ホームの日溜に
 ジーパンが逆さに干され山笑う
 天空に昇れず蔦の霜枯れる
 文明はガラスの破片雪こんこん
 身もて余すテレビつけつ放しの冬日
 初けしき社に古りし寄進塔
 床の間の万年青と向き合ひ喜寿となる
 清貧のどこか母似の冬すみれ

竹田 萍
 吉田 十二
 若松田鶴子
 暉峻 康瑞
 脇岡ちか子
 東 要一
 天水美保子
 藤後むつ子



きらり青春

ゆか 由香さん

(志布志町) 19歳

勤務先: 介護職

趣味: ファッションに興味があります。

余暇の過ごし方: 買い物(洋服大好きです!)や友達とおしゃべりを楽しんでいます!

今のお仕事はどうか?:

就職してまだ1年も経っていませんが、介護の難しさと深さを今、実感しているところです。先輩方は、みなさん優しく親切にしてくださり、毎日楽しい日々を送っています。

夢は: いい女になる!!

志布志市に何を望みますか?: もっと志布志市をアピールできるような名所を作ってほしいです。
 友人から一言(隈元綾乃): いつも笑顔で楽しそうに働いている「由香ちゃん」、しっかりしている様に見えて、ちょっとおちょこちょいところが、また可愛いです(笑)。

これからも、今の様に仕事に全力で取り組んで、いい恋いっぱいして、もっと「いい女」になってね♥



伊崎田和紙に先生も挑戦



今月の納税

納付期限 2月29日(金) 口座振替日 2月25日(月)

口座振替をされる方は、口座振替日の前日までに残高確認をお願いします。

国民健康保険税(10期) 介護保険料(10期)

まちの発展には自主財源が必要です

まちの発展を支えるさまざまな税金、市県民税・固定資産税・軽自動車税・みなさんの健康を守る医療保険制度の基礎である国民健康保険税。いずれも志布志市にとって大切な財源です。市では、税負担の公平性を維持するために、滞納額の減少に向けた様々な取り組みを行っています。

税金を滞納するとどうなる?

税金には、各期に納付期限(納税通知書に記載)が定められています。納税者が期限内に納付していない状態を「滞納」といい、税金を滞納したままにしておくと、本来納める税額以外にも督促料・延滞金を納めることになるほか、滞納処分を受けることとなります。

また、国民健康保険税を滞納すると、保険証の交付を差し止めたり、資格証明書や有効期限の短い保険証(短期保険証)の交付となります。

滞納処分とは?

滞納処分とは法律で定められており、本人の意思にかかわらず強制的に税金の徴収を受けることとなります。なお、処分は次のようなものがあります。

(1) 督促

納付期限までに納付がない場合、20日以内に督促状を送付します。

(2) 財産調査
官公庁・金融機関・勤務先・取引先などに対して財産調査を行います。

(3) 差押え
滞納者の財産(不動産・預貯金・給料・軽自動車等・電話加入権)を差押えます。

(4) 公売
差押え後も完納とならない場合は、差押えた滞納者の財産を公売し、滞納している税金に充当します。

納税は便利な口座振替で!

口座振替をご利用になると、毎月25日に指定の金融機関の口座から自動で引き落とされ、納め忘れも無く納付の手間も省けるうえ、一度登録されると翌年以降も継続されるので大変便利です。

納め忘れの無い安心で便利な口座振替をご利用下さい。

あなたの預金口座のある取扱金融機関へお申込みください。

■問い合わせ 市役所税務課
TEL 474-1111(内線148・152)

申し訳ありませんがこのコーナーはインターネット版ではご覧になれません。

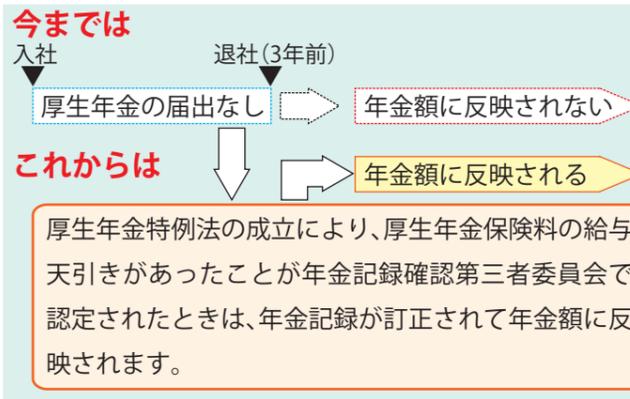
年金情報

市役所 474-1111(内116)
志布志支所 472-1111(内223)
松山支所 487-2111(内224)
Pension information

厚生年金特例法について

厚生年金保険料が給与から天引きされていたにもかかわらず、事業主から保険料の納付や資格などの届出がされていない方に年金をお支払いする法律ができました。

【具体例】3年前に退職した事業所で厚生年金保険料を給与天引きされたにもかかわらず、事業主が厚生年の加入手続きをしていなかったことがわかった場合を左記に示します。



厚生年金特例法の概要

●年金記録確認第三者委員会が「①事業主が従業員から厚生年金保険料を給与天引きしながら②社会保険庁に納付したことが明らかでない」と認定された場合には、社会保険庁は年金記録確認第三者委員会の認定事業により年金記録を訂正し、年金額に反映します。

●事業主は、保険料の徴収権が時効消滅となる2年を経過した後であっても保険料を納付できることとなり、社会保険庁はその納付を勧奨します。(※事業主が廃業している場合には、役員であった者に納付を勧奨します。)

●社会保険庁は、事業主または役員が保険料を納付しない場合には、その事業主名または役員の氏名を公表します。(※保険料が納付されたか否か明らかでない場合を除きます。)

●公表してもなお納付されなかった場合には、国が保険料を負担します。(※その後も事業主への請求等を行います。)

問い合わせ先

●鹿屋社会保険事務所
TEL 099-442-5121
●「ねんきんダイヤル」
TEL 0570-051165

市の人口 12月31日現在

人口	35,120人	(21)
男	16,501人	(△2)
女	18,619人	(23)
転入	73人	転出 46人
出生	27人	死亡 33人
世帯数	15,645戸	(6)

志布志港 平成19年11月分

資料 鹿児島税関支署

①入港隻数	58隻
(日本1、外国57)	
②輸出	8億44百万円
③輸入	97億11百万円



平成20年度志布志市 奨学生の募集について

市教育委員会では平成20年度の高等学校・専門学校・短期大学・大学・海外留学生を対象に、次のとおり奨学生を募集します。

■対象者

- 高校生
- 大学生・短期大学生及び高等専門学校生
- 留学生（大学生・短期大学生及び高等専門学校生・専門学校生）

■必要書類

【新規】願書、平成19年分所得証明書（世帯全員のもの）／所得制限500万円以下、納税証明書（世帯全員のもの）、住民票（親権者）、在学証明書、推薦書等

【継続】平成19年分所得証明書（世帯全員のもの）／所得制限500万円以下、納税証明書（世帯全員のもの）、在学証明書

※高校から大学に、大学から大学院に、進学する等は新規扱い

■募集期間

4月1日(火)から4月30日(水)

■貸与金額（年額）

- 高校生 …… 18万円
- 大学・短大・専門学校生 …… 36万円
- 留学生 …… 60万円

■募集要件

本市に4月1日現在で3か月以上在住する方の子ども、所得が500万円以下の世帯（申請者が

2人以上の場合はこの限りではない。）とし、選考委員会で審査のうえ決定します。

■返還方法

卒業後、1年据え置いて翌年から5年～10年間で返還していただきます。

■問い合わせ先

市教育委員会教育総務課

TEL 472-1111（内線311）

有明教育課

TEL 474-1111（内線285）

松山教育課

TEL 487-1211（内線262）

平成20年度しゃんしゃん馬 花嫁カップル募集！

志布志市お釈迦祭り実行委員会では4月29日（昭和の日）に開催される「しゃんしゃん馬・お釈迦祭り」の「しゃんしゃん馬・花嫁カップル」5組を募集しています。

花婿が馬に乗せた花嫁を引いてパレードする「しゃんしゃん馬・花嫁カップル」に参加して一生に一度の思い出作りをしてみませんか。



■募集要項

- ①募集対象 平成19年4月1日～平成20年4月30日までに結婚、もしくは結婚予定のカップル。
- ②募集組数 5組（市内4組、市外1組）

市内の運動・体育施設の 年間利用予約申込み

平成20年度の志布志市内の運動・体育施設の年間利用予約の申込みを受け付けますので、利用される団体は、必ず次の要領により申込みをされますようお知らせします。ただし、大会、イベントに限りません。

●対象施設 城山及び志布志運動施設並びに有明の体育施設

●利用期間 平成20年4月1日～平成21年3月31日

●申込方法 所定の利用予約申請書による（教育委員会にあります）

●受付期間 2月5日（火）～2月22日（金）

（これ以降は受付しませんが、御了承ください）

■申込み先

●城山総合公園の運動施設 ↓ 城山総合公園公園体育館

●志布志運動公園の運動施設 ↓ 志布志運動公園体育館

たばこ自動販売機では、「taspo(タスポ)」が必要になります。

未成年者喫煙防止の取組みの一環として、鹿児島県のたばこ自動販売機は、2008年2月までに成人式別たばこ自動販売機に変わり、「taspo(タスポ)」が必要になります（発行手数料無料・年会費無料）。申込書は、たばこ販売店店頭などで入手できます。



●有明体育施設 ↓ 有明総合体育館

■諸注意事項

- ①電話での申込みは、受け付けられません。
- ②各団体の利用予約日の日時が、市及び市体育協会等の行事と重複する時は、市及び市体育協会を優先します。
- ③利用予約日の日時が、他の団体と重複するときは、後日当該団体間で話し合ってください調整をお願いすることになります。

■問い合わせ先

市教育委員会生涯スポーツ係

TEL 472-1111（内線331）

環境審議会委員を募集します

今、私たちの環境を取り巻く状況は、地球温暖化、廃棄物問題、化学物質による環境汚染など複雑・多岐にわたっています。

これらの問題の解決には、市民一人ひとりが身近なところから環境保全への取組を実践し、環境へ

※市内組とは、現住所が市内であること。しかし市外在住であっても旧志布志町、旧有明町、旧松山町出身の場合は、市内組の扱いとします。

③募集締切 3月14日（金）

当日消印有効

④決定方法 申込みが5組以上の場合は、申込み者本人達の（両名）出席による「選考会（抽選会）」を開催し、決定します。

⑤参加費用 1組3万円

⑥選考会及び決定者発表 4月6日（日）

⑦リハーサル 4月27日（日）

⑧その他

●参加が決定したカップルについては、4月6日（日）に担当美容室と「花嫁のかつら合せ」を行います。

●希望により、1組のみ仏前結婚式が挙げられます。

※詳細につきましては事務局までお問い合わせください。

ポートルレディーを募集します

志布志市観光協会では、市内在住の明るく積極的な女性を志布志ポートルレディーとして2人募集しております。自薦、他薦を問いませんので、お申込下さい。

■募集要項

- 年齢 18歳以上

の負荷の少ない循環を基調とする社会の実現や人と自然が共生する環境にやさしい社会の実現を図っていかねばなりません。

市では、志布志市環境審議会に住民の目線から志布志市の環境保全について、真剣に考え熱意のある方の参加を求めため、次の要領により委員を公募します。

●公募委員の人数 若干名

●委員をお願いする期間 委嘱の日～平成22年3月31日

●審議会の開催回数 年1回～3回程度

●応募資格 市内に居住する20歳以上（平成20年4月1日現在）で、自ら応募する者。

●公務員・市議会議員でないこと。

●平日開催の審議会に出席できること。

■応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入の上、本所市民部環境政策課へ持参、郵送、ファックス又はEメールのいずれかで提出してください。応募用紙は、市民部環境政策課で配布します。市ホームページからもダウンロードできます。

■応募締切

平成20年3月31日

■問い合わせ・応募先

市役所市民部環境政策課

TEL 474-1111（内線134）

Fax 474-12281

E-mail kankyousaku@city.shibushi.jp

●対象 市内在住者

●締切り 3月21日（金）

●活動内容 県内外の各種イベントへの参加

●その他 制服一式（夏、冬）、派遣手当支給、副賞。

■申し込み・問い合わせ先

しぶしお釈迦祭り実行委員会事務局

志布志市観光協会 事務局

（市役所港湾商工課内）

TEL 474-1111（内線264）

鹿児島県障害者スポーツ大会 の参加申込について

障害者のスポーツの振興を図るとともに、障害者に対する理解と認識を深め、その自立と社会参加の促進に寄与することを目的として、第2回鹿児島県障害者スポーツ大会が開催されます。

詳細については次のとおりです。

●日時 平成20年5月18日（日）

●場所 県立鴨池陸上競技場

●参加申込締切 3月31日（月）

●大会参加選手資格

障害手帳を所持されている方で、競技種目により条件があります。

●問い合わせ先

市役所福祉課障害福祉係

TEL 474-1111（内線174）



第2回志布志市障害者 スポーツ・レクリエーション大会

今年も、昨年好評だったフライングディスクを行います。初心者の方も、きつと楽しんでいただけたらと思います。

みなさんの参加をお待ちしています。ご家族の方も是非一緒に参加し、お楽しみください。

●期日 2月24日（日）

●受付 午前9時～9時30分

●開会 午前10時

●会場 志布志運動公園体育館

●種目 フライングディスク

●問い合わせ・参加申込先

有明本庁 福祉係

TEL 474-1111（内線174）

Fax 474-12281

●志布志支所 障害福祉係

TEL 472-1111（内線203）

●松山支所 福祉係

TEL 487-1211（内線272）

農林漁業に使用する 軽油引取税の免税について

軽油引取税は、道路の整備・改修等の費用に充てるための税金です。道路を走行しない農林業用の機械や漁船での使用等については、免税証の交付などの手続きを受けた場合に限り、軽油引取税が免除されます。

■対象者

農業・林業・漁業を営む者

■対象となる軽油

●次の機械の動力源に供する軽油
動力耕うん機その他の耕うん整地用機械、栽培管理用機械、収穫調整用機械、食物繊維用機械、畜産用機械、製材機、集材機、積込機、可搬式チップ製造機

■免税手続き

①あらかじめ県大隅地域振興局に申請して「免税軽油使用者証」の交付を受けます。（免税軽油使用者証は2年以内の有効期限が定められています。）
②その使用者証を示して、必要な数量だけ「免税証」の交付を受けます。

③「免税証」に記載されている販売業者から「免税証」と引き換えに、免税軽油を引き取ります。

④「免税証」により免税軽油を引き取った事実やその数量などを記載した報告書を県大隅地域振興局に提出します。

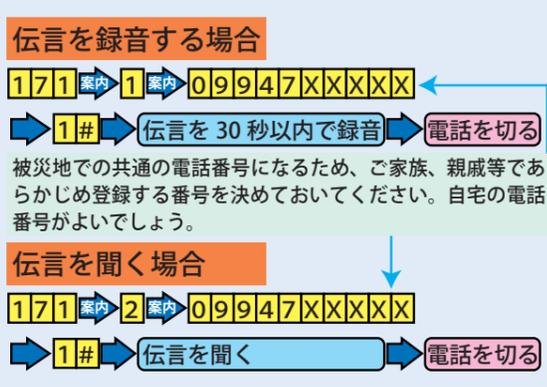
●免税額 税率は軽油1リットルにつき32・1円です。（3月31日まで）

■問い合わせ先

大隅地域振興局県税課曾於総務分室

TEL 099-1482-1111

災害用伝言ダイヤル



災害発生時には一般の電話や携帯電話はつながりにくくなり、ご家族や親戚・知人の安否を確認することが非常に難しくなります。

NTTではこの問題を解決するために「災害用伝言ダイヤル（1711）」のサービスを提供します。もちろん、災害時に比較的つながりやすい公衆電話からの利用も可能です。

■提供開始

震度6弱以上の地震発生時、及び地震・噴火等の発生により、被災地へ向かう安否確認のための通話等が増加し、被災地へ向けての通話等がなかりにくい状況になった場合、NTT側で速やかに利用可能とします。

平成20年4月1日から身体障害者等のための自動車税・自動車取得税の減免制度が変わります

4月1日から、一定の要件に該当する身体障害者等の方のために使用される自動車の自動車税・自動車取得税の減免制度の一部を改正します。

自動車税・自動車取得税の減免額に上限が設定され、上限額を超える額については自己負担となります。

生計同一者又は常時介護者による運転に係る減免の対象が拡大されます。身体障害者手帳をお持ちの方で、下肢障害(障害等級6級以上)を含む複数の異なる部位の障害を合算した等級が2級以上となる場合は、生計同一者又は常時介護者による運転があらたに減免の対象となります。

■自動車税(変更後) 減免上限額=45,000円

※グリーン化税制により年税額が高くなる(重課)自動車
上限額=49,500円

■自動車取得税(変更後) 減免上限額=125,000円
(軽自動車は75,000円)

問い合わせ先	
鹿児島地域振興局自動車税課	TEL 099-261-5611
鹿児島地域振興局県税管理課	TEL 099-223-0161

～流動資産担保融資保証制度のご案内～

中小企業者が有する流動資産を担保として金融機関から融資を受ける場合に、鹿児島県信用保証協会が保証を行う制度です。

この制度は、従来の不動産担保に依存しない、中小企業の資金調達の円滑化を目的とした新たな資金調達手段であり、売掛債権に加えて平成19年8月から棚卸資産(在庫など)も担保の対象となりました。

○保証限度額 2億円(借入限度額は2億5千万円)

○保証料率 年0.68%

○申込方法 金融機関を通じて鹿児島県信用保証協会に申し込んでください。

問い合わせ先 県信用保証協会保証部 TEL 099-223-0271

水道修繕当番店

■松山地区			
2月	濱田建設		TEL 487-2288
3月	イケダ		TEL 487-8771
■志布志地区			
2月12日～2月18日	志布志水道		TEL 472-3540
2月19日～2月25日	山本組		TEL 472-1101
2月26日～3月3日	宮崎水道		TEL 472-1081
3月4日～3月10日	高吉組		TEL 472-0721
3月11日～3月17日	崎田建設		TEL 473-0050
■有明地区			
2月	有徳設備工業	TEL 475-1596	有線 5160
3月	有明水道土木	TEL 475-0635	有線 3672

「産業廃棄物税」～循環型社会の形成を目指すために～

産業廃棄物を排出される事業者の方は、最終処分場や焼却施設に搬入される産業廃棄物について、処理料金のほかに、産業廃棄物税を最終処分業者又は焼却処理業者に別途支払う必要があります。

■税率 最終処分場への搬入の場合 1,000円/トン
焼却施設への搬入の場合 800円/トン

なお、焼却以外の中間処理を経て最終処分場又は焼却施設に搬入される場合は、中間処理業者が納税義務者となり、税を負担する中間処理業者は処理料金に税相当分を上乗せして、排出事業者に請求することになります。このため、排出事業者は間接的に税の負担をしていただくこととなります。

問い合わせ先	
税額や納税方法	県庁税務課 TEL 099-286-2202 Fax 099-286-5514
税収の使い道	県庁廃棄物・リサイクル対策課 TEL 099-286-2594 Fax 099-286-5545

餅もちっと伝承・伝習会

白もち、草もち、からいも餅の伝習会を行います。もち米の蒸し方から餅つき、揉み方まで一貫して体験していただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

■開催の日時 3月9日(日) 9:00～14:00

■場所 志布志市有明農業歴史資料館・体験館

■参加費 1000円 ■募集人員 20人(先着順)

■参加申し込み 3月1日(土)まで

※かっぱぼう着・タオル等をご持参ください。

問い合わせ・申込先 志布志市開田の村管理組合
TEL 471-4343 Fax 471-4344

+ 2月・3月 休日在宅医診療 +		
2月17日	松下医院(内・外科、皮膚科) びろうの樹整形外科(整形・内科)	TEL 472-1124 TEL 471-6611
24日	はまさき耳鼻咽喉科(耳鼻咽喉) 砂原医院(内・外科、小児科)	TEL 473-3387 TEL 474-0020
3月2日	井手小児科(小児科) びろうの樹整形外科(整形・内科)	TEL 473-3211 TEL 471-6611
9日	藤後クリニック(内科) 松下医院(内・外科、皮膚科)	TEL 472-1237 TEL 472-1124
16日	山口内科(内科) 山下クリニック(内・外科、整、脳、理)	TEL 473-1188 TEL 487-9001
20日	手塚クリニック(内科、外科) 砂原医院(内・外科、小児科)	TEL 472-5565 TEL 474-0020

※夜間に病気や怪我で困ったときは「曾於郡医師会夜間急病センター(曾於郡医師会立病院内)」までお問い合わせください。(TEL 482-5899)

※都城市・北諸県郡管内の休日の救急診療機関は、電話でのテープ案内(TEL 0986-23-5555)を行っていますのでご利用ください。

守ろう! 確かめよう! 最低賃金! 鹿児島県最低賃金が619円に!!

鹿児島県最低賃金が平成19年10月26日より時間額619円に改定されました。

※鹿児島県最低賃金は、県内の全ての労働者に適用されますが、産業別最低賃金の対象産業に該当する場合は、その産業別最低賃金が適用されます。

※産業別最低賃金の産業に該当する場合でも「18歳未満65歳以上の方」「雇入れ後6月未満で技能習得中の方」「清掃または片付けの業務に主として従事する方」など一定の場合は産業別最低賃金の適用はなく、地域別最低賃金が適用されます。

■以下の産業は産業別最低賃金が適用されます。(現在の金額は次のとおりです。改正について審議中です。)

- 電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス製造業 時間額 677円
- 百貨店、総合スーパー 時間額 659円
- 自動車(新車)小売業 時間額 681円

問い合わせ先 鹿児島労働局・賃金室 TEL 099-223-8278

「吃音者のつどい in 鹿児島」のご案内

言有会では「吃音に負けず積極的により前向きに生きていこう」と吃音者の問題解決のために全国31か所で活動しています。その一環として、下記のとおり「吃音者のつどい in 鹿児島」を開催します。

■主催 NPO法人全国言友会連絡協議会

■日時 3月9日(日) 13:00～16:30

■場所 鹿児島市中央公民館 地下会議室B

■対象 吃音者(どもる方)、吃音児をお持ちのご両親、および吃音問題に関心のある方

■参加定員 60人 ■参加費 無料

■内容(予定) 吃音の基礎知識、主催団体の紹介
出合いの場(エンカウンターゲーム)
吃音者自身あるいはその保護者の体験発表

■講師 鹿児島国際大学福祉社会学講師 崎原秀樹氏ほか

申込・問い合わせ先 石神真也 TEL 090-6429-5256

E-mail: stuttering2007@yahoo.co.jp

■市報しづしに掲載する
有料広告を募集します!

○企業などの宣伝広告
○企業などの求人広告
○臨時的なアルバイト募集
○商店街などのイベント告知など
○広告の掲載規格
1枠当たり縦56ミリ、横90ミリメートルとし、1広告当たり2枠を限度とします。広告枠数は毎月8枠以内とします。

■広告掲載料
1枠当たり月額1万円(2枠の場合2万円)

■広告掲載申込方法
広告掲載申請書に広告案を添付して掲載希望月の前月20日までに本庁総務課へ提出してください。広告掲載申請書は本庁総務課に準備してあるほか志布志市ホームページからダウンロードできます。

※市報の公共性、公益性及び中立性を保つため掲載をお断りする場合があります。(内容を審査の上掲載の可否を通知します。)

■市報しづし概要
毎月12日発行、全面カラー印刷、発行部数1万4400部

■問い合わせ先
市役所総務課
TEL 474-1111(内線214)



「志のまち」のシンボルマークを募集します

市では「志のあふれるまちづくり」のシンボルとしてロゴマークを製作いたします。志のまちづくりをイメージするシンボルマークを募集しますので、皆さんのデザイン・アイデアを下記によりご応募ください。

■募集期間 2月25日(月)～3月21日(金)(当日消印有効)

■応募要件

●デザインの色は、白色用紙の色を含む4色以内とし、グラデーション(ぼかし)は不可とします。

●自作の未発表作品とします。
(※その他、要件につきましてはお問い合わせください)

■応募資格 どなたでも応募できます。(1人3点以内)

■応募方法

①応募は、本応募用紙又は縦横15cmの枠の白色用紙を使用し、1枚につき1作品とします。

②応募にあたっては、住所・氏名・年齢・電話番号・デザインの趣旨を必ず記入してください。

③応募作品は、持参または封書による郵送とします。(FAX、電子メール、デジタルデータでの応募はできません)

■賞金 採用作品最優秀賞 1点・・・10万円
候補作品優秀賞 5点・・・各5千円

※入賞者には個別に連絡するとともに、平成20年4月24日(しづしの日)において公表いたします。

※採用作品に関する一切の権利は、志布志市に帰属するものとします。なお、採用作品について若干の修正を加える場合又はモノクロで使用する場合があります。応募作品は返却しません。

応募・問い合わせ先 志布志市役所本庁企画政策課
〒899-7492 志布志市有明町野井倉1756番地
TEL 099-474-1111(内線250)

志布志市くらしのカレンダー

日曜当番医は39ページに掲載しています

2/15 (金)	「都城志布志道路」松山～有明北IC開通式(10:00～有明北IC) 三種混合予防接種(13:30～14:00受付 アピア2階ホール)	3/1 (土)	
16 (土)		2 (日)	第3回しぶしポトマラソン大会(10時ハーフマラソンスタート) 志布志運動公園陸上競技場発着 両親学級(9:30～9:40受付 はぐくみランド)
17 (日)		3 (月)	
18 (月)		4 (火)	心配ごとと行政相談(10:00～15:00 老人福祉センター松山) 法律相談(13:00～15:00 本庁3階会議室)
19 (火)	県下一周市郡対抗駅伝競争大会志布志市通過予定 法律相談(13:00～15:00 志布志支所5F会議室) 心配ごと相談(10:00～15:00 老人福祉センター松山) 特設人権相談所開設(10:00～15:00 尾野見地区公民館) 育児学級/育児相談(13:30～15:00 やっちくふれあいセンター)	5 (水)	女性支援相談室(有明改善センター 13:00～17:00) 心配ごと相談(10:00～15:00 市民センター有明) 心配ごと相談(10:00～15:00 健康ふれあいプラザ) 母子手帳交付(13:30～16:00 本庁保健課窓口)
20 (水)	女性支援相談室(13:00～17:00 有明改善センター) 心配ごと相談(10:00～15:00 市民センター有明) 心配ごと相談(10:00～15:00 健康ふれあいプラザ) 乳児健診/BCG予防接種(13:00～13:15受付 やっちくふれあいセンター) 三歳児健康診査(13:00～13:15受付 やっちくふれあいセンター) 母子手帳交付(13:30～16:00 本庁保健課窓口)	6 (木)	三種混合予防接種(13:10～13:30受付 宇都鼻研修センター)
21 (木)	行政相談(13:00～16:00 志布志支所5F会議室) 2歳児・5歳児歯科検診(13:00～13:30受付 健康ふれあいプラザ)	7 (金)	
22 (金)	育児学級(9:30～10:00受付 健康ふれあいプラザ) 育児相談(10:30～12:00 健康ふれあいプラザ)	8 (土)	
23 (土)	生涯学習フェスティバル(～24日 22頁参照)	9 (日)	
24 (日)		10 (月)	掘り出し物市(10:00～ そおりサイクルセンター)
25 (月)		11 (火)	三種混合予防接種(13:30～14:00受付 アピア2階ホール)
26 (火)	1歳6か月児健康診査/麻しん風しん混合予防接種 (13:00～13:30受付 健康ふれあいプラザ)	12 (水)	心配ごと相談(10:00～15:00 健康ふれあいプラザ) 母子手帳交付(9:00～12:00 松山支所福祉課窓口)
27 (水)	年金移動相談所解説(10:00～15:00 志布志支所5F会議室) 心配ごと相談(10:00～15:00 健康ふれあいプラザ) 母子手帳交付(9:00～12:00 松山支所福祉課窓口) 育児学級(9:30～9:45受付 宇都鼻研修センター) 育児相談(10:30～12:00 宇都鼻研修センター)	13 (木)	乳児健診/BCG予防接種(13:00～13:30受付 健康ふれあいプラザ) 3歳児健康診査(13:00～13:30受付 健康ふれあいプラザ)
28 (木)	乳児健診/BCG予防接種(13:00～13:30受付 健康ふれあいプラザ) 3歳児健康診査(13:00～13:30受付 健康ふれあいプラザ)	14 (金)	1歳児歯科相談(9:30～10:00受付 健康ふれあいプラザ) 育児相談(10:30～12:00 健康ふれあいプラザ)
29 (金)		15 (土)	

※志布志支所での母子手帳交付は毎週月曜日の午前中に福祉課窓口で行います。

ニュース・ご意見などありましたら E-mail info@city.shibushi.lg.jp までご一報ください

この広報紙は再生紙を使用しています。

編集後記

▼特集で給食センターや給食について取材を行いました。▼『食』というの生きていく上でとても大切なものです。▼冷凍食品の毒物検出問題などもあり、国内では「食」に対する関心が大変高まっています。▼現在、センターでは子どもたちに安心で安全な給食を食べてもらうため、ほとんどの惣菜についても市内産の原料を主に自家調理を行っているとのこと。▼最近では「温めるだけ」でもできるのではないかと、いうくらい多くの「冷凍食品」が店頭には並んでいます。▼しかし、たまには料理の本を手にながら手間ひまをかけて、自分で手作りの料理を作ってみるのも楽しいのではないのでしょうか。▼そんな愛情のたっぷり入った「ごちそう」なら家庭での食べ残しも大分減るかもしれません。(山本)

2月・3月の行事予定

げんき市(昭和通付近)
毎週土・日曜日(9時～15時)

花野果市(田之浦ふるさと交流館)
2月24日(9時～12時)

戌の市(宝満寺)
2月16日、28日、3月11日

駅通り会土曜朝市(アピア前駐車場)
毎月第1、第3土曜日(7時～11時)

そば処ちんたら庵(山重芝用)
毎週日曜日11時～14時

掘り出し物市(そおりサイクルセンター)
3月10日(10時～)